

HTLV-1抗体スクリーニングと キャリア妊婦に対するサポート体制 についての実態調査

調査対象 : 日本産婦人科医会に登録されている全国の分娩取り扱い施設

実施時期 : 2023年9月～11月

調査目的 : 妊婦のHTLV-1キャリアのスクリーニング検査の状況および
HTLV-1キャリアのケアについての実態を把握すること

送付数 : 2,010 施設 (うち、有効総数 2,002 施設)

回答施設数 : 1,290施設 (回答率64.4%)

日本産婦人科医会 母子保健部会

HTLV-1とは？

(ヒトT細胞白血病ウイルス-1型:Human T-cell Leukemia Virus Type 1)

- HTLV-1は、レトロウイルスの1種(RNAウイルス類の中で逆転写酵素を持つ種類)に属す。
- HTLV-1 は、**感染したT細胞が別のT細胞と接触することにより感染・伝播**され、大量の生きた感染細胞が体内に移入された場合に感染する可能性が生じる。
- HTLV-1 に感染者の約95%は（無症候性）キャリアとして一生を終え、**HTLV-1 関連疾患の発症はキャリアの約 5%**である。
- HTLV-1 関連疾患には成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL)、HTLV-1 関連脊髄症(HAM)、HTLV-1 関連ぶどう膜炎がある。
- **ATL: HTLV-1に感染したT細胞が「がん化」する疾患**で、感染から ATL を発症するまでに 40 年以上の長い年月を要する。**生涯発症率は女性でおよそ 50人に1人**（男性では15人に1人）であり、発症後は化学療法が行われるが、予後は不良である。
- **HAM: 主に脊髄で HTLV-1感染細胞に起因する慢性炎症により脊髄性神経障害を来す疾患**で、発症年齢の中央値は40 歳代後半で、HAMの生涯発症率は0.25%程度であるが、発症後は確実に歩行障害、排尿・直腸障害が進行し、予後不良である。
- **感染経路として、① 母乳を介する母子感染、② 性行為感染(水平感染)、③ 出生前の感染(経胎盤感染、産道感染)がある。**
- 日本全国のキャリア数は推定 72-82 万人 (2014-2015 年の調査より) いて、抗体陽性率は平均 0.32% (男性 0.30%、女性 0.34%)で、年齢が高いほど抗体陽性率が高い。

HTLV-1の母子感染予防の取り組み

- HTLV-1は母子感染の予防が重要な感染症であり、HTLV-1の母子感染予防のために公費補助のもと全妊婦を対象としたスクリーニング検査が行われている。
- HTLV-1キャリアの母乳中には感染細胞が含まれていることから、**母乳に感染リスク**があることから、産婦人科診療ガイドライン産科編では**完全人工栄養が推奨**されている。
- HTLV-1の厚労科研研究班の研究で、**産後90日未満の短期母乳栄養に完全人工栄養と同等な母子感染予防効果**があることが見いだされた。
- 短期母乳栄養を選択しても**30%の産婦は、授乳を中止できずに長期母乳栄養となってしまう**現実もあり（児がミルクを飲まない、母乳を欲しがると、周囲の無理解などによる）、継続的な保険指導や母乳ケアを実施する必要がある。

日本産婦人科医会では、HTLV-1の母子感染予防に取り組んでおり、全国的な感染状況や各施設の取り組み状況を把握する調査を継続的に行っている。

締め切り：2023年●月●●日

施設番号	施設名
------	-----

(FAX : 03-6685-3718)

迅速に集計処理を行うため、できるだけWebでの回答をお願いします。
 回答フォームは、医会ホームページ【ホーム＞産婦人科医会のこと＞部会別資料＞母子保健部会】からアクセスできます。右記QRコードからもできます。
 FAX利用時（FAX：03-6685-3718）は回答記入した用紙のみ返信ください。



HTLV-1 抗体陽性妊婦に関する調査

ご注意 ※ 2022年1月1日より2022年12月31日に貴施設で実施したHTLV-1抗体関連検査についてご記入ください。なお、年度での回答を希望する場合には2022年度でご回答ください。

Q01. 2022年1月1日より2022年12月31日に貴施設で実施したHTLV-1抗体関連検査の実施数についてご記入ください

スクリーニング	前医で陽性のため未実施		実施				未実施
			男性		女性		
スクリーニングの結果	()人		()人		()人		()人
確認検査	実施		未実施 ^{※1}		未実施 ^{※2}		
	()人		()人		()人		
確認検査の結果	陽性	判定保留	陰性				
	()人	()人	()人				
PCR	実施		未実施 ^{※2}				
	()人		()人				
PCRの結果	陽性	判定保留	陰性				
	()人	()人	()人				

未実施の理由
 ※1：すでにHTLV-1キャリアと診断されているため
 ※2：転院のため

Q02. Q1でHTLV-1キャリアと診断された妊婦の中で、前回妊娠時に陰性であった経産婦はいましたか。
 いなかった いた ⇒ ()人

Q03. Q1でHTLV-1キャリアと診断された妊婦の出産後の最初の栄養方法の選択はどのようなものでしたか。症例数でご回答ください。

<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養	例	⇒ Q04へ
<input type="checkbox"/> 人工栄養	例	
<input type="checkbox"/> 凍結解凍母乳栄養	例	⇒ Q09へ
<input type="checkbox"/> 母乳栄養(長期)	例	
<input type="checkbox"/> その他 ()	例	

Q03でHTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した場合についてお伺いします。

Q04. 結果的に短期母乳栄養が達成できましたか。施設で把握できている範囲でお答えください。

<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養として3か月で断乳できた(完遂できた)	例	<input type="checkbox"/> 3か月より前から人工栄養になった	例
<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養の終了が出来ず、長期母乳栄養になった	例	<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養中に長期母乳栄養に選択変更して実践した	例
<input type="checkbox"/> フォローできていない	例		

Q05. 貴院では主に誰が妊娠中や分娩で入院中の母体の母乳育児中のケアを担っていますか？(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 産婦人科医師	<input type="checkbox"/> 助産師などの看護スタッフ	<input type="checkbox"/> 保健師など行政スタッフ
<input type="checkbox"/> 小児科医師	<input type="checkbox"/> 母乳ケアの専門家のいる施設に紹介している	
<input type="checkbox"/> 本人に委ねている	<input type="checkbox"/> わからない	
<input type="checkbox"/> その他 ()		

Q06. 貴院では主に誰が退院後の母体の母乳育児中のケアを担っていますか？(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 産婦人科医師	<input type="checkbox"/> 助産師などの看護スタッフ	<input type="checkbox"/> 保健師など行政スタッフ
<input type="checkbox"/> 小児科医師	<input type="checkbox"/> 母乳ケアの専門家のいる施設に紹介している	
<input type="checkbox"/> 本人に委ねている	<input type="checkbox"/> わからない	
<input type="checkbox"/> その他 ()		

Q07. 貴院では退院後、母子はどこでフォローされていますか？(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 母乳外来/助産師外来	<input type="checkbox"/> 医師外来
<input type="checkbox"/> 乳児健診外来	<input type="checkbox"/> 地域の助産所/母乳相談室など
<input type="checkbox"/> フォローしていない	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q08. 貴院では母乳育児中の相談・ケアはいつ頃まで行っていますか？

<input type="checkbox"/> 1か月健診まで	<input type="checkbox"/> 断乳終了まで(3~4か月頃まで)
<input type="checkbox"/> 断乳後も必要に応じて継続的に	<input type="checkbox"/> フォローしていない
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q09. 妊婦がHTLV-1キャリアと診断された場合、貴院ではどのような授乳法を原則的に勧めますか。並列で複数提示している場合には複数選択してください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 人工栄養	<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養	<input type="checkbox"/> 凍結解凍母乳栄養
<input type="checkbox"/> 母乳栄養(長期)	<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q10. HTLV-1キャリアと診断された妊婦から出生した児のフォローアップはどのようにしていますか？

<input type="checkbox"/> 小児科(自施設も含)等に紹介する	<input type="checkbox"/> 自施設でフォローアップする
<input type="checkbox"/> 妊婦の選択に委ねる	<input type="checkbox"/> フォローアップしていない
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q11. HTLV-1キャリアから出生した児の母子感染を確認するために3歳ごろの抗体検査が勧められています。貴院では抗体検査について、どのように対応していますか？

<input type="checkbox"/> 特に考慮していない	<input type="checkbox"/> 必要性について説明している
<input type="checkbox"/> かかりつけ(自院含む)小児科医に紹介する	<input type="checkbox"/> 地域のHTLV-1専門施設に紹介する
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q12. HTLV-1キャリアと診断された妊婦に対してどのような説明を行っていますか？(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 主に母乳で母子感染すること
<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養での母子感染率は人工栄養と同等なこと
<input type="checkbox"/> 関連疾患とその発症率
<input type="checkbox"/> キャリアの頻度には地域差があること
<input type="checkbox"/> 母乳栄養のメリットと限界
<input type="checkbox"/> 母子感染の確認検査の必要性について
<input type="checkbox"/> その他 ()

Q13. HTLV-1キャリア妊婦自身がHTLV-1感染症についての専門的な診療を希望された場合に、専門施設に紹介するシステムが地域にありますか？

ある ない わからない

Q14. HTLV-1キャリア女性の分娩後のフォローアップについて、貴院に当てはまるのはどれですか？

<input type="checkbox"/> 自施設で対応している	<input type="checkbox"/> 地域のHTLV-1専門施設に紹介している
<input type="checkbox"/> 特に何もしていない	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q15. 貴院ではHTLV-1キャリアと診断された妊婦の心のケアについてはどのようにしていますか？(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 基本的に十分な説明で解決する	<input type="checkbox"/> 不安があれば再診を促す
<input type="checkbox"/> 不安があればHTLV-1専門施設にケアを依頼する	<input type="checkbox"/> 精神科を含めたケア体制を整備している
<input type="checkbox"/> 説明とは別に、自施設で対応している	<input type="checkbox"/> 地域の保健師に依頼する
<input type="checkbox"/> 特になにもしていない	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q16. HTLV-1キャリア妊婦の診療を充実させるために希望することはありますか？(複数回答可)

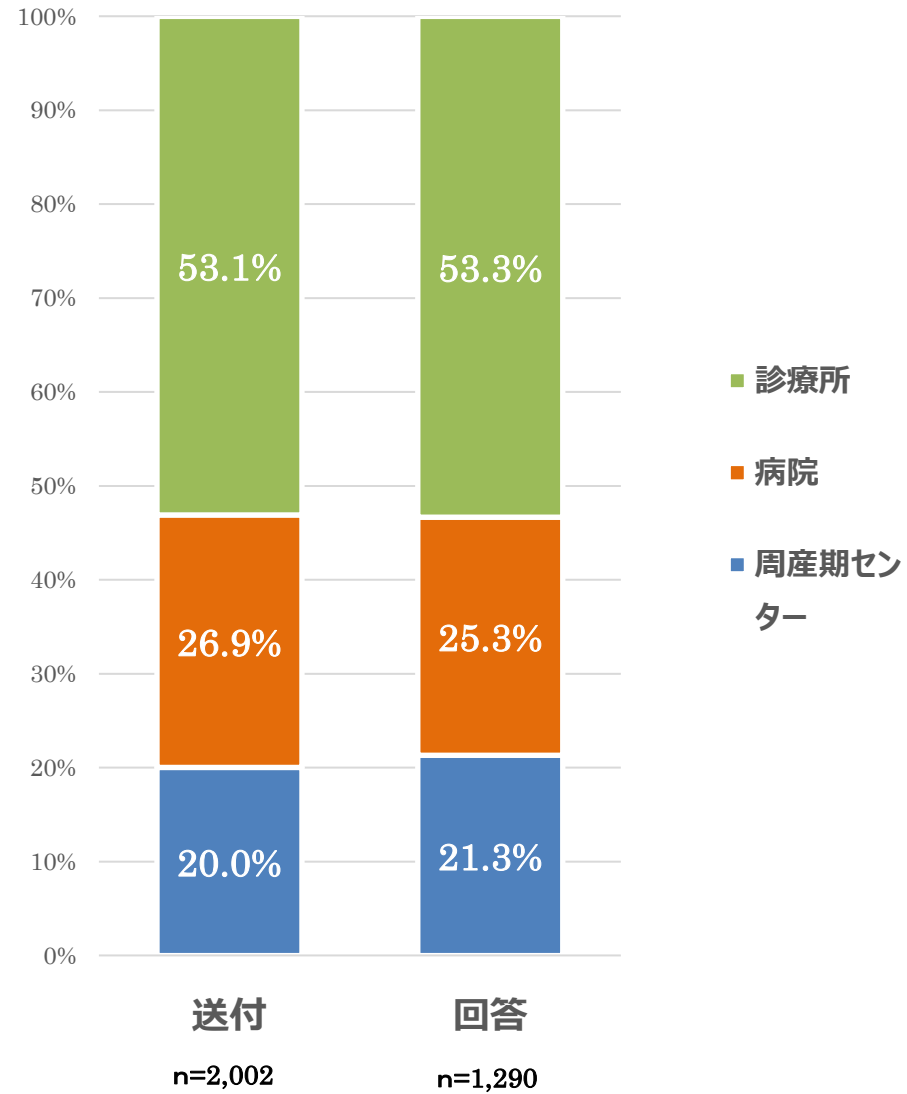
<input type="checkbox"/> 専門家による講習会の開催	<input type="checkbox"/> 管理マニュアルの作成
<input type="checkbox"/> 専門施設への紹介システムの構築	<input type="checkbox"/> 専門家との相談窓口の設置
<input type="checkbox"/> その他 ()	

Q17. HTLV-1キャリア妊婦の診療で困っていることはありますか？

ない
 ある ⇒ 具体的にご記載ください

ご協力ありがとうございました。

回答施設の区分

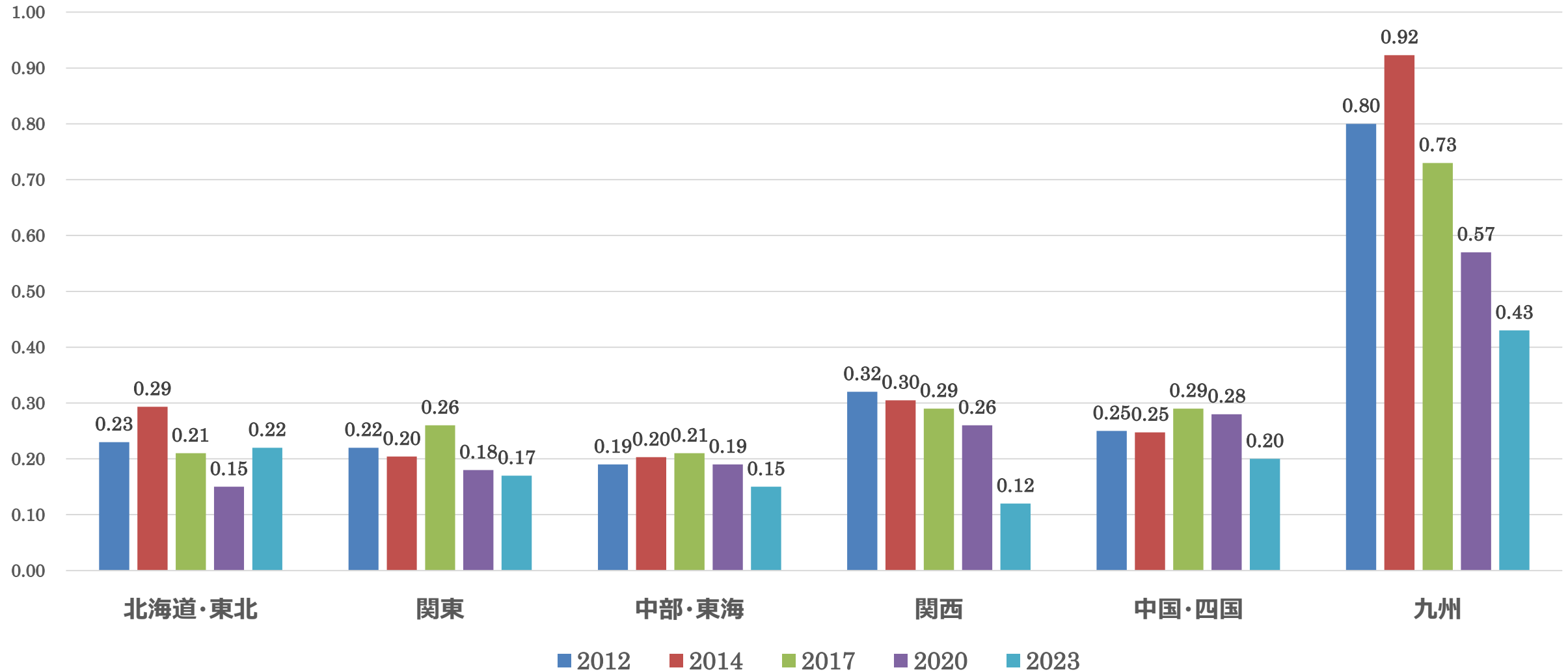


HTLV-1スクリーニングおよび確定検査の実施状況

2023年調査	スクリーニング検査			確認検査(LIA法)					PCR検査				
	検査数	陽性数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%
北海道・東北	35,479	78	0.22	69	22	31.9	12	17.4	11	0	0.0	0	0.0
関東	162,000	274	0.17	258	55	21.3	42	16.3	49	8	16.3	2	4.1
中部・東海	60,039	88	0.15	82	31	37.8	14	17.1	15	3	20.0	0	0.0
関西	64,161	154	0.12	135	24	17.8	6	4.4	8	1	12.5	1	12.5
中国・四国	40,509	79	0.20	71	16	22.5	8	11.3	9	0	0.0	0	0.0
九州	62,659	272	0.43	199	120	60.3	14	7.0	11	8	72.7	0	0.0
合計	424,847	945	0.22	814	268	32.9	96	11.8	103	20	19.4	3	2.9

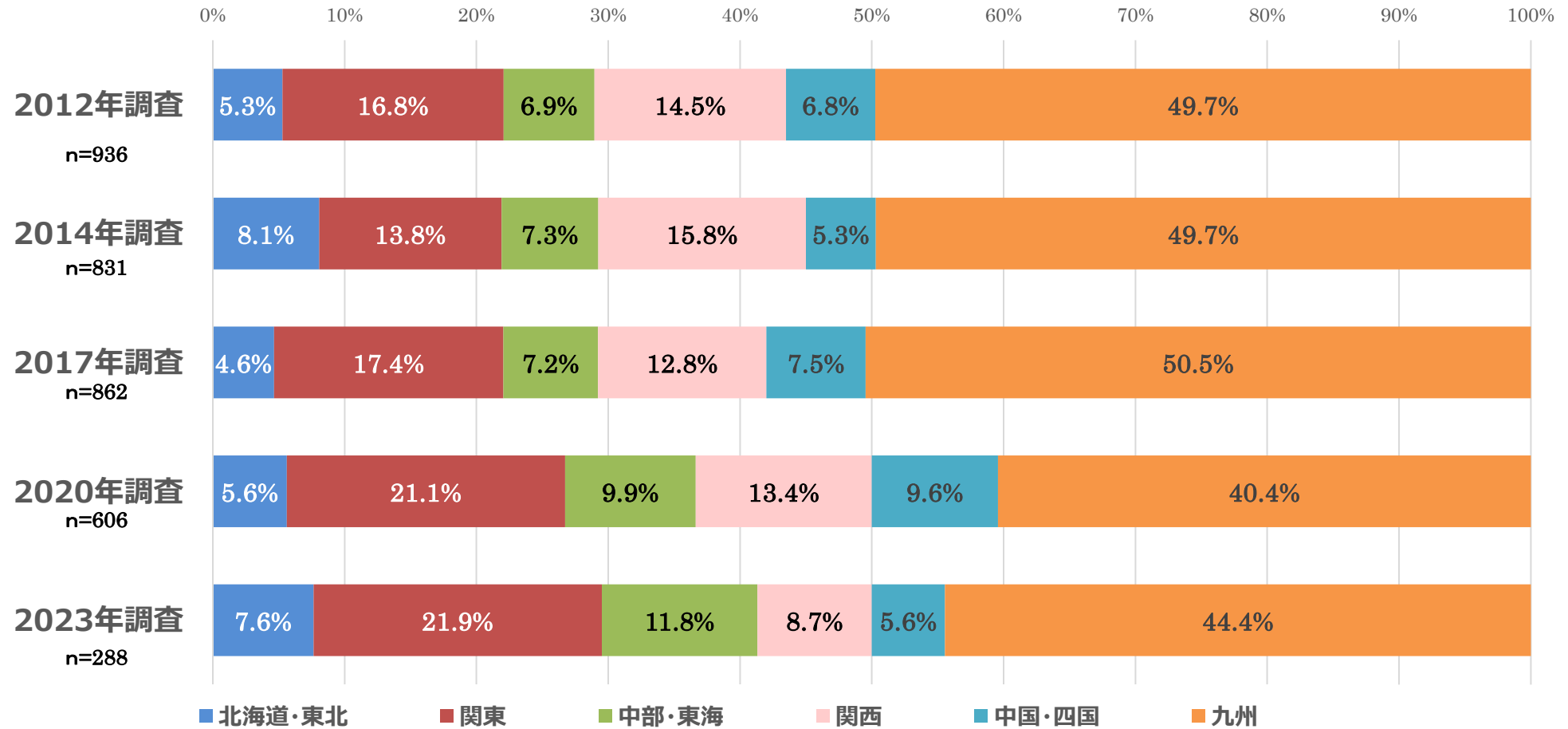
2020年調査	スクリーニング検査			確認検査(LIA法)					PCR検査				
	検査数	陽性数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%
北海道・東北	50,413	74	0.15	74	34	45.9	4	5.4	5	0	0.0	1	20.0
関東	201,649	372	0.18	344	120	34.9	40	11.6	42	8	19.0	0	0.0
中部・東海	104,984	198	0.19	191	56	29.3	12	6.3	18	4	22.2	2	11.1
関西	80,717	212	0.26	186	77	41.4	11	5.9	10	4	40.0	2	20.0
中国・四国	48,063	134	0.28	119	55	46.2	8	6.7	10	3	30.0	1	10.0
九州	82,800	476	0.57	360	239	66.4	14	3.9	19	6	31.6	2	10.5
合計	568,626	1,466	0.26	1,274	581	45.6	89	7.0	104	25	24.0	8	7.7

HTLV-1スクリーニング検査の地域別陽性率の推移



- 九州では陽性率が確実に低下してきている。関西でも減少傾向にある。

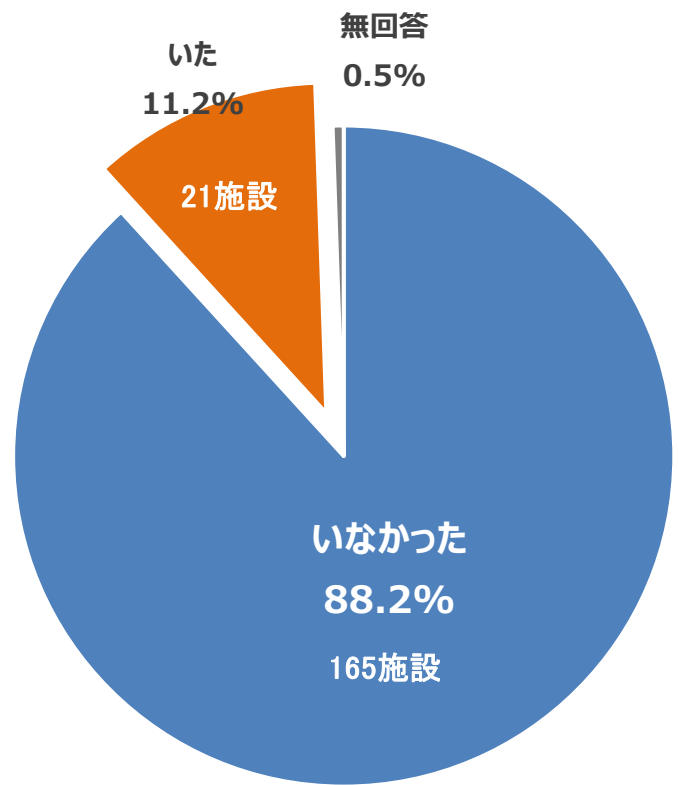
HTLV-1キャリア妊婦の地域別割合の年次変化



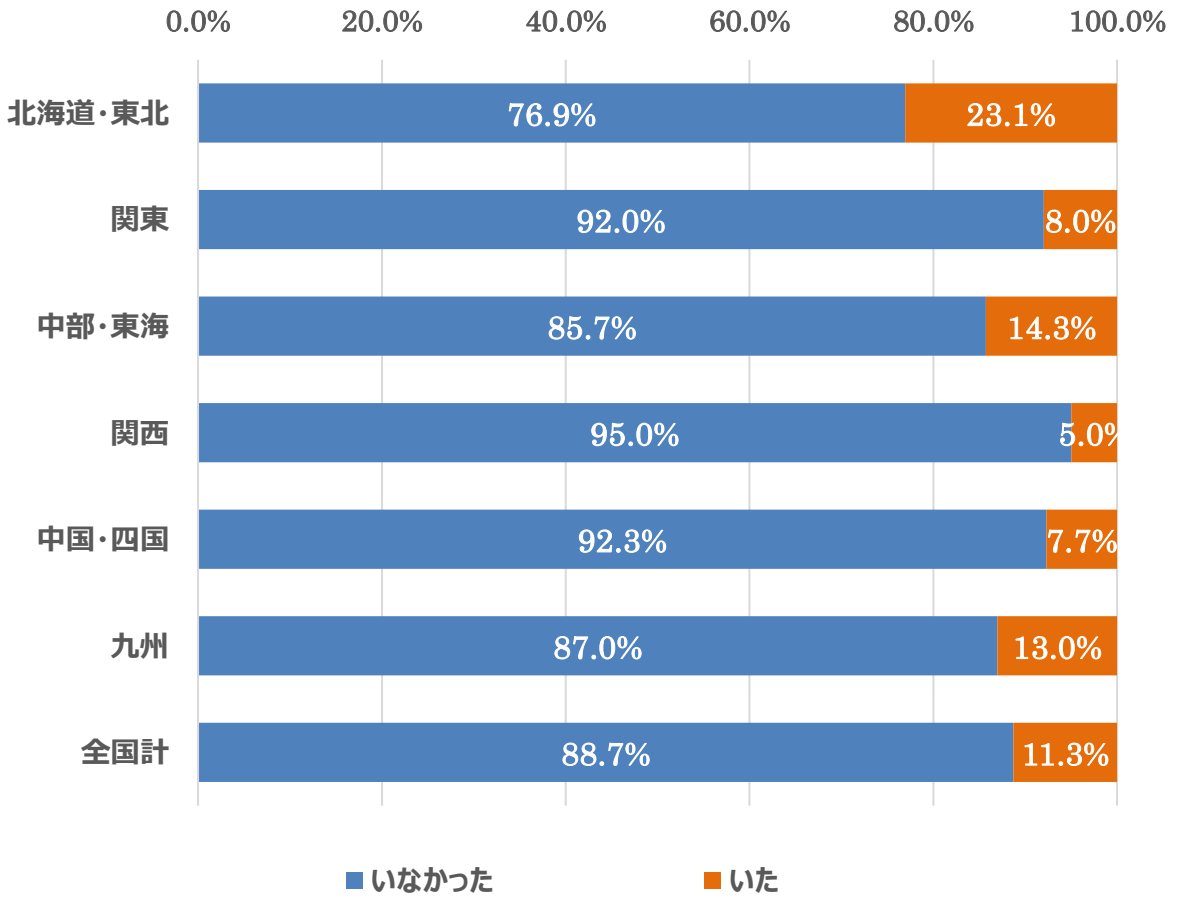
HTLV-1キャリアと診断された妊婦に前回妊娠時に陰性の経産婦はいましたか

HTLV-1の水平感染を疑う妊婦がいた施設

HTLV-1キャリアがいた施設: 187施設



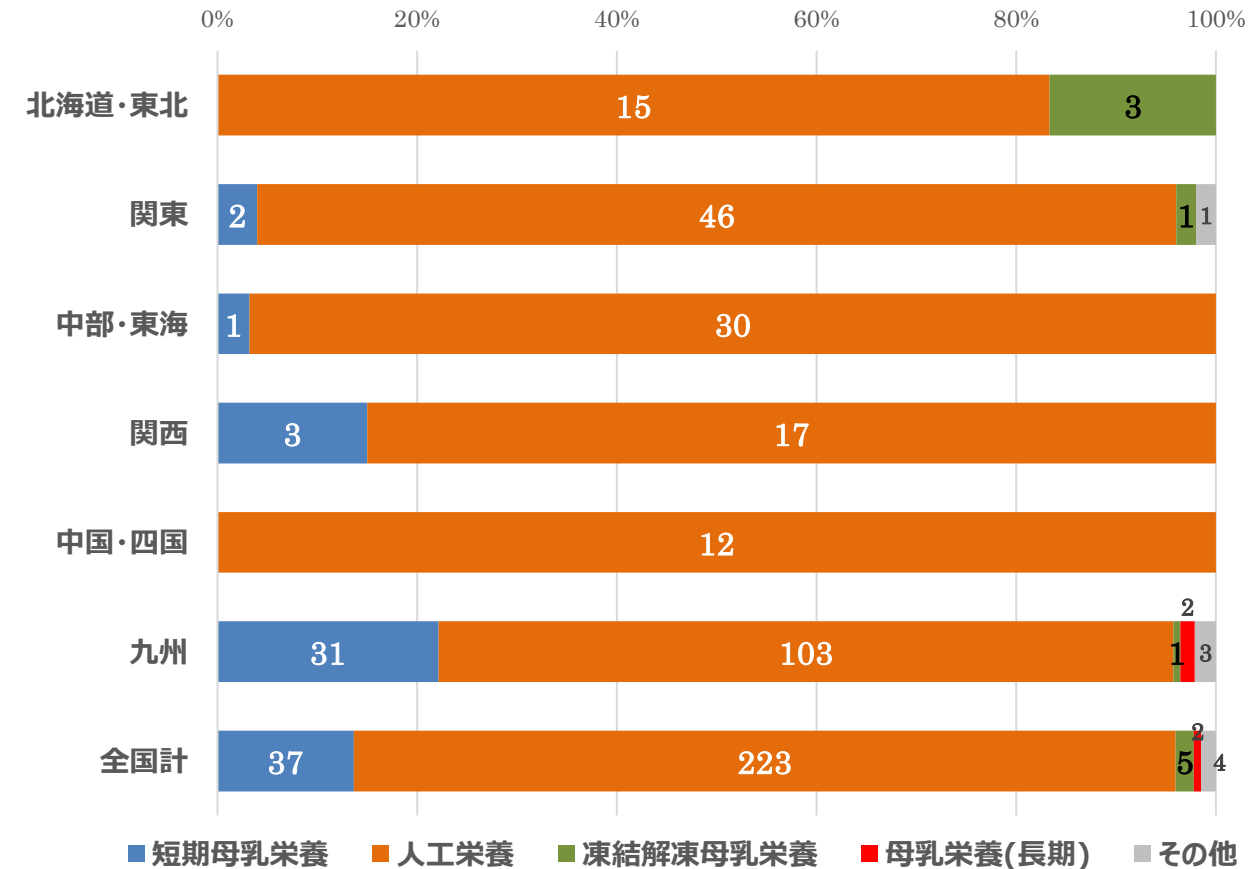
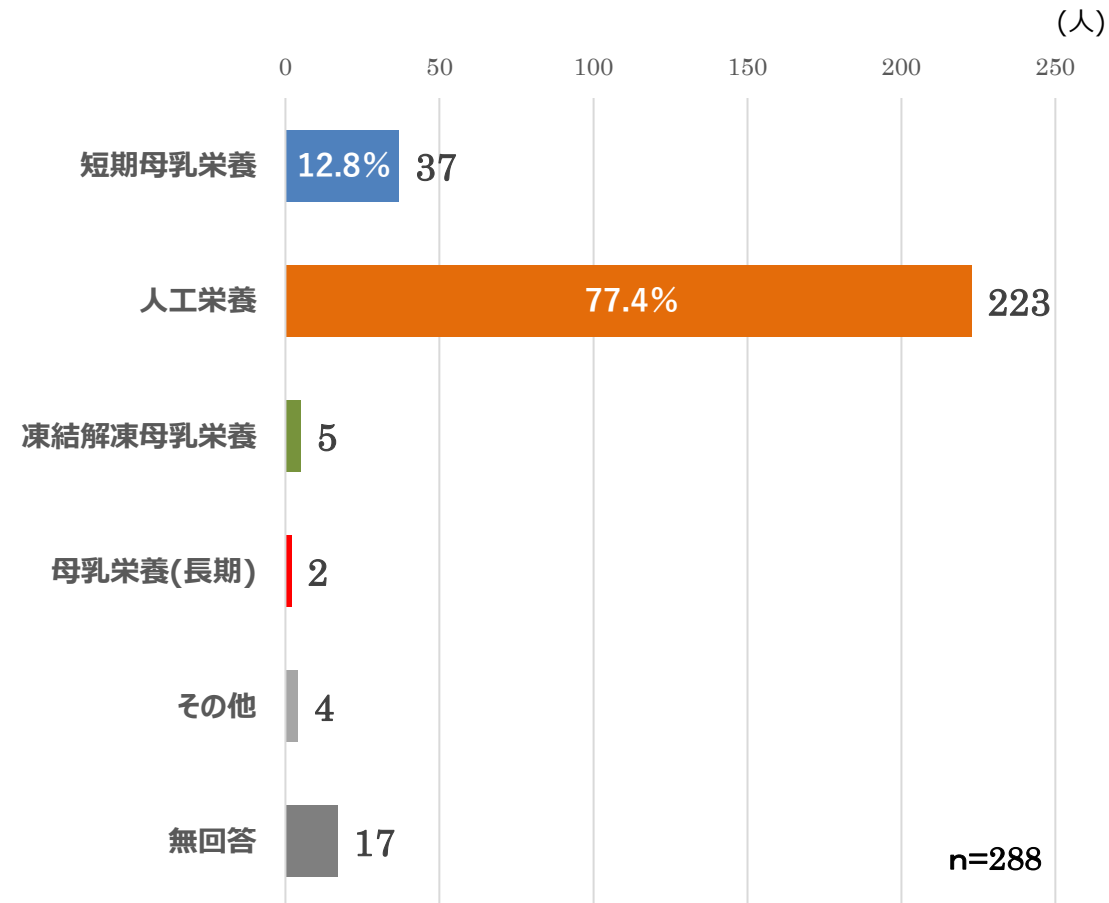
※HTLV-1キャリアと診断された妊婦=確認検査で陽性+PCR検査で陽性



・HTLV-1キャリアと診断された妊婦288人のうち、前回陰性であった妊婦 21人(7.3%)は水平感染の可能性がある。

HTLV-1キャリアと診断された妊婦の出産後の最初の栄養方法の選択

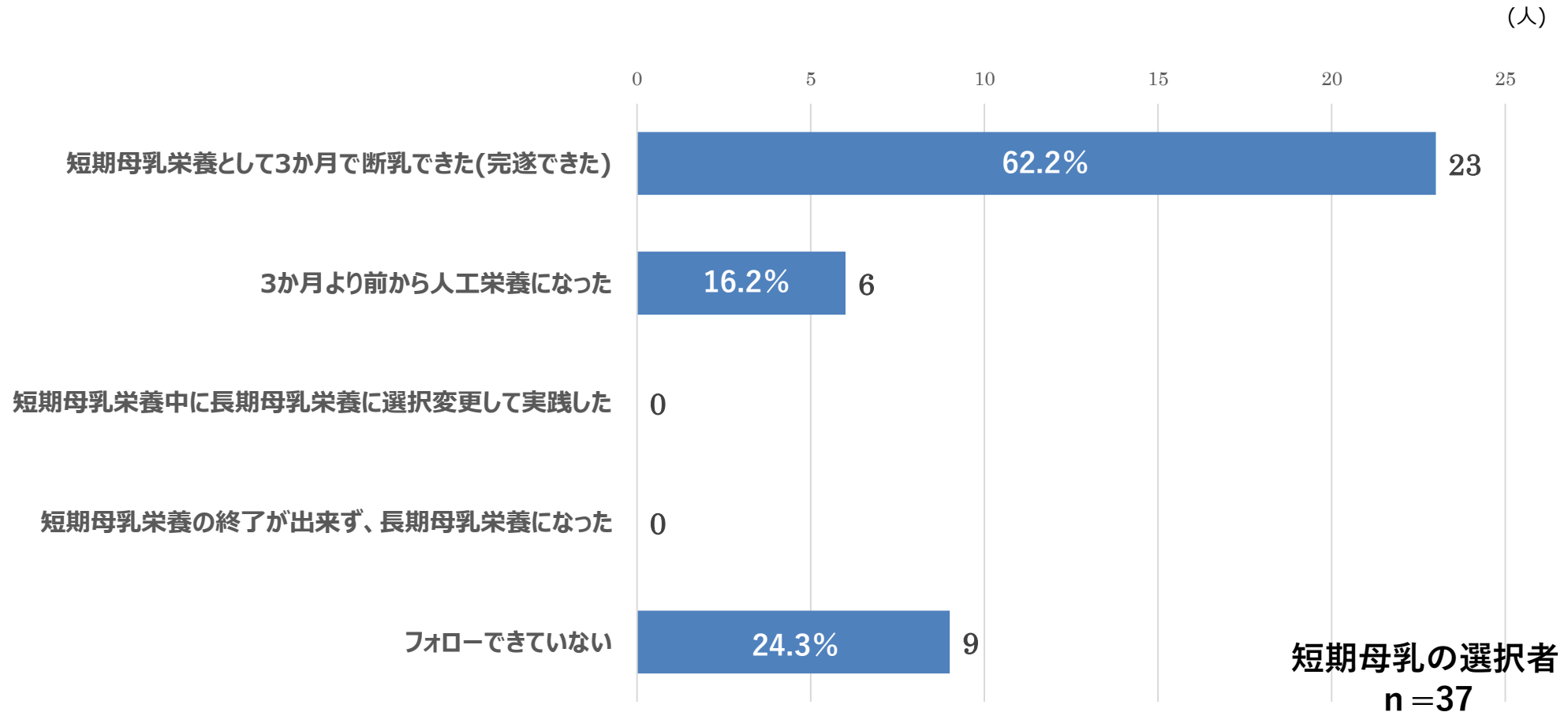
※HTLV-1キャリアと診断された妊婦=確認検査で陽性+PCR検査で陽性



HTLV-1キャリア妊婦の栄養方法の選択

- 77.4%が人工栄養を選択しており、短期母乳栄養の選択は12.8%であった。
- 短期母乳栄養は九州地方や関西地方で選択されることが比較的多い傾向にある。

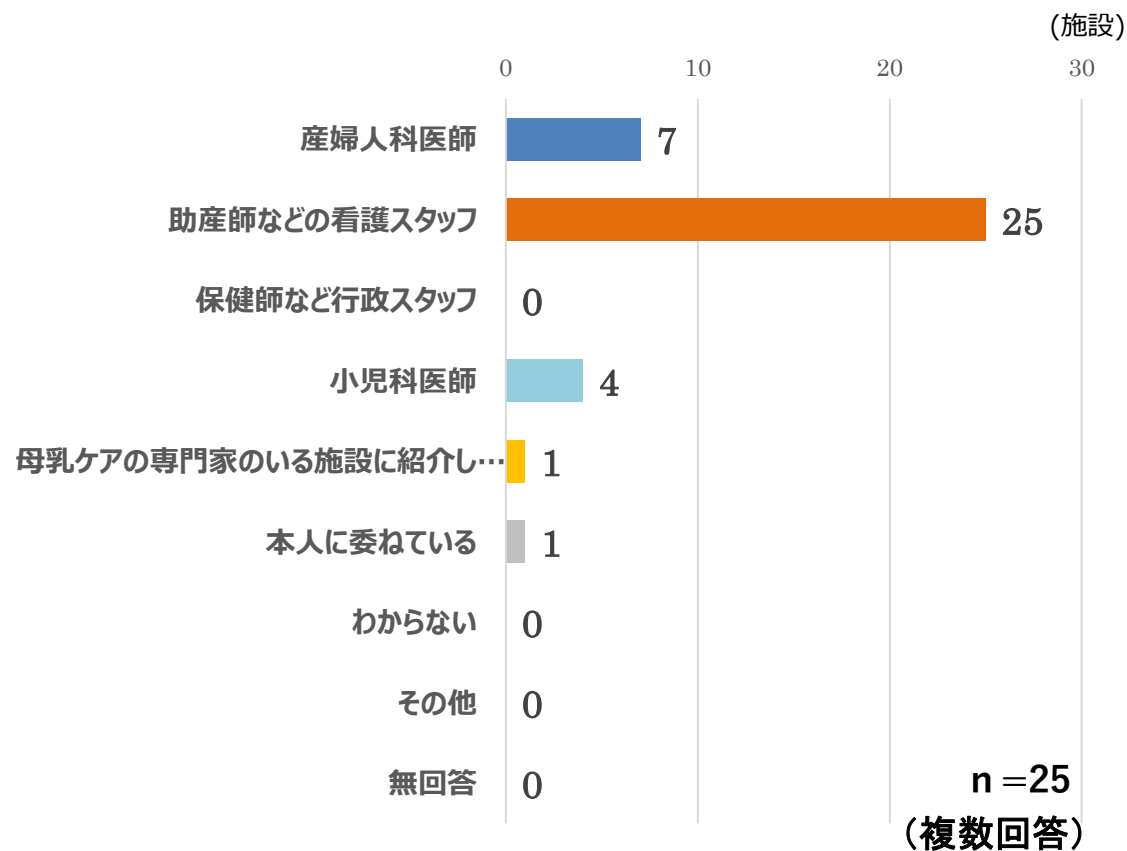
【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】 結果的に短期母乳栄養が達成できましたか



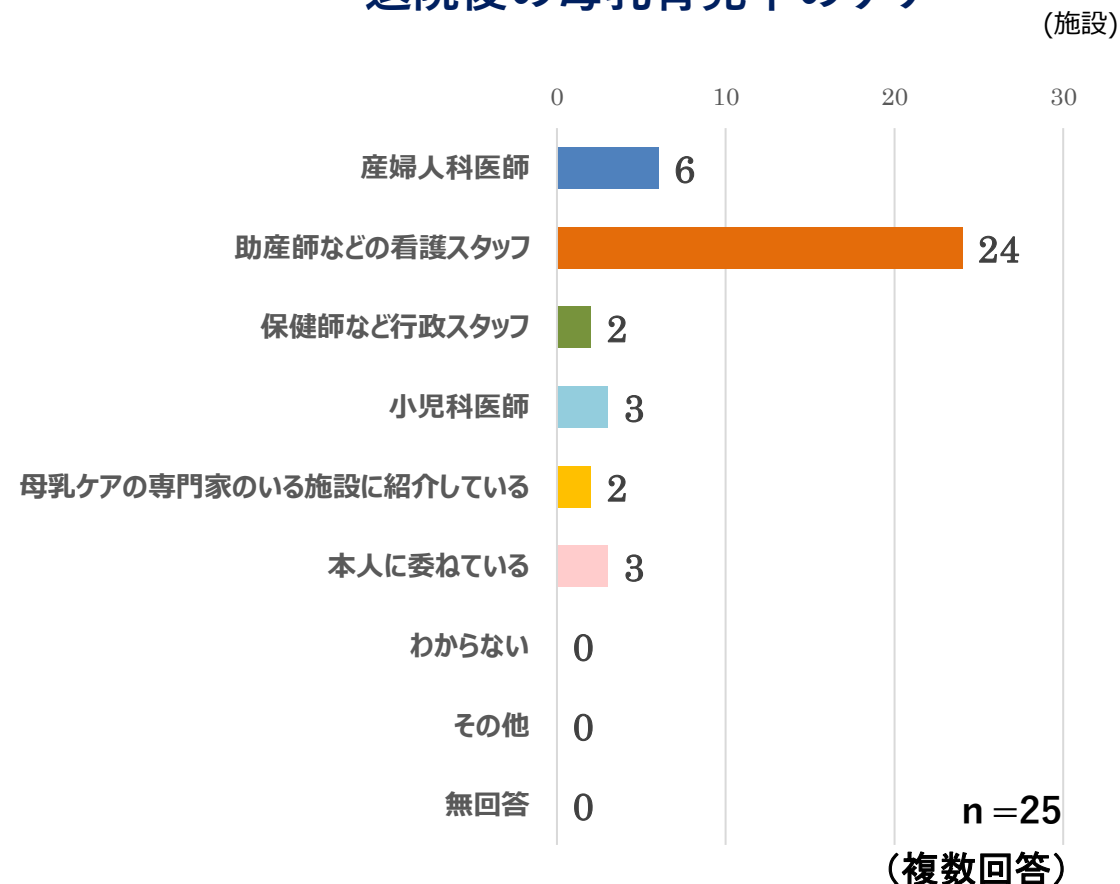
- 短期母乳栄養の選択者は37名と少ないものの24.3%はその後のフォローが出来ていない結果であった。
- 今回の調査では、短期母乳栄養をフォローした中では、長期母乳に移行した症例はなかった。

【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】 貴院では主に誰が母体の母乳育児中のケアを担っていますか？

妊娠中や分娩で入院中のケア

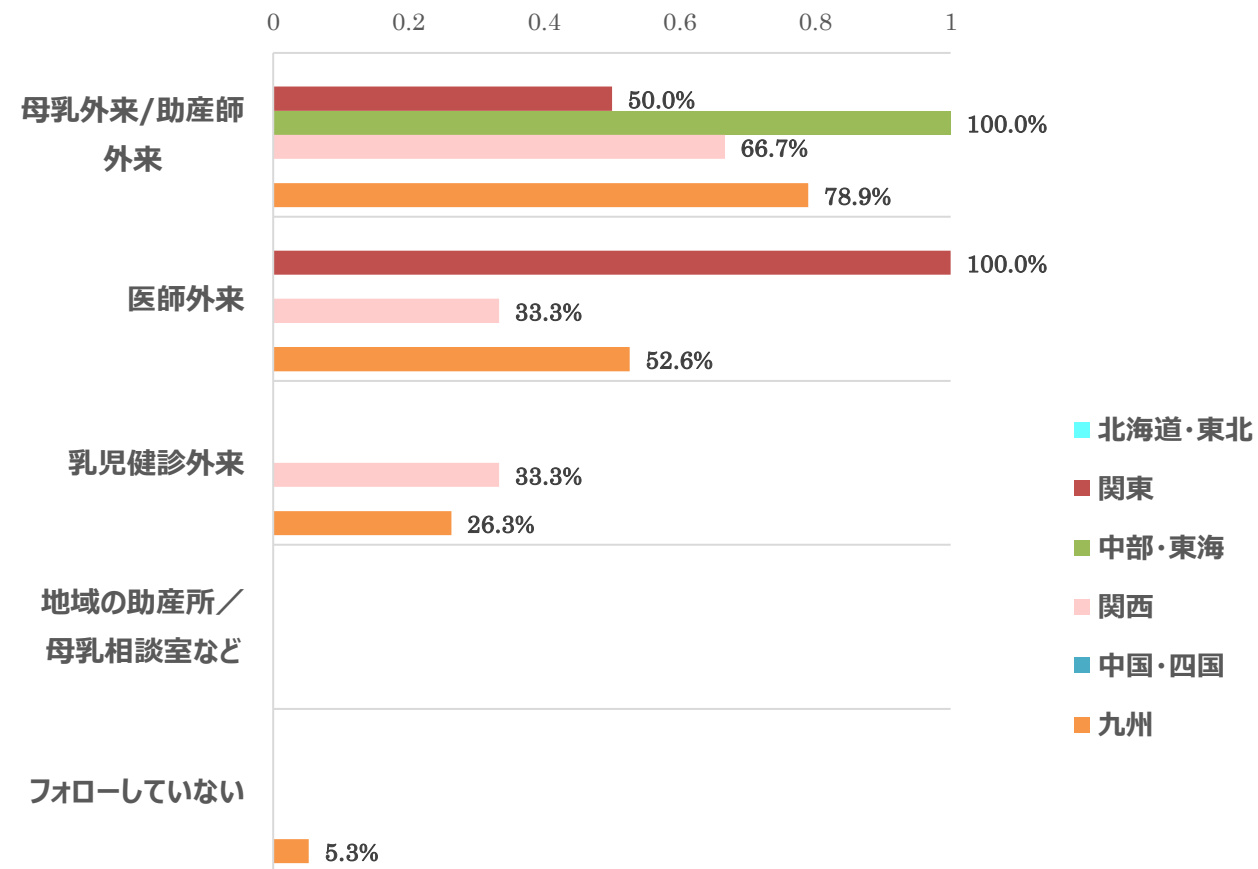
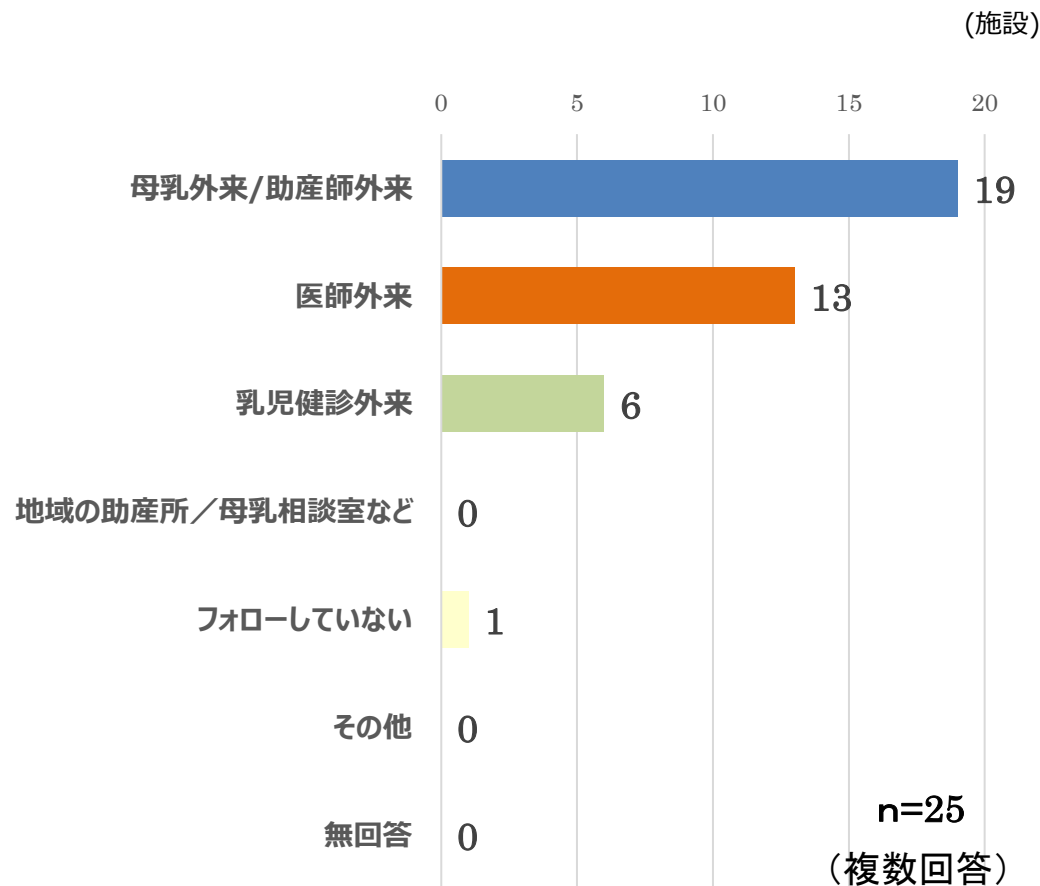


退院後の母乳育児中のケア



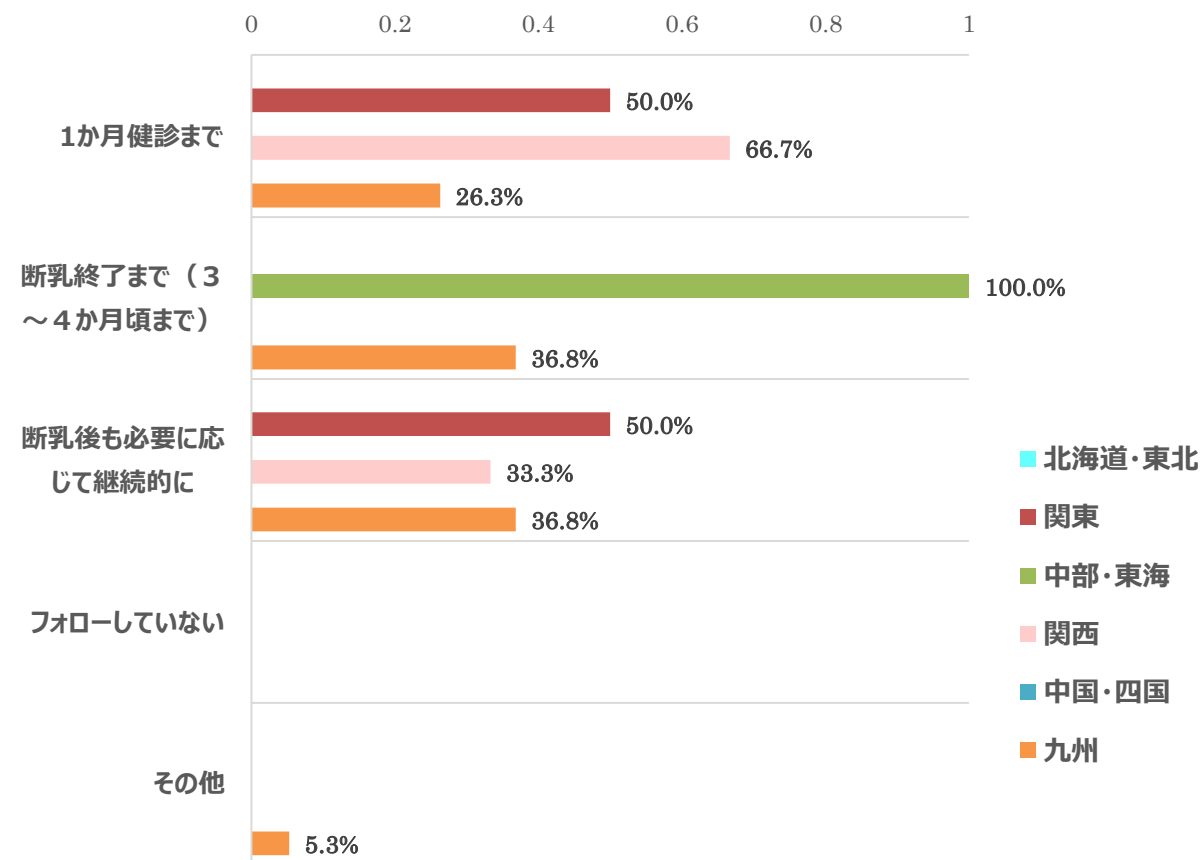
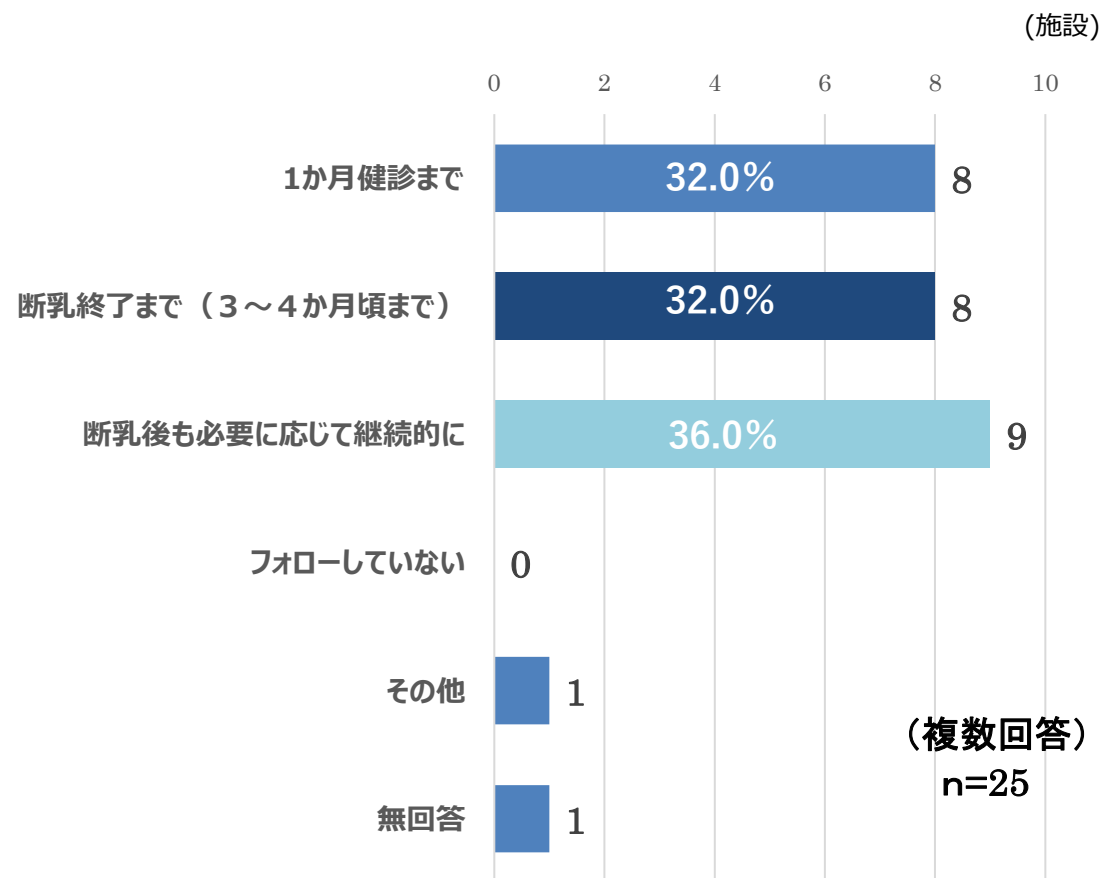
- 短期母乳栄養の母乳育児のケアは全施設で助産師などの看護スタッフが担っている。また、退院後も看護スタッフが担っている。
- 妊娠中から産後まで地域の母乳ケアの専門家に委託することもあり、また、産後は行政に紹介する場合もある。

【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】 貴院では退院後、母子はどこでフォローされていますか？



・退院後の母子は、母乳外来/助産師外来や医師の外来、乳児健診外来などでフォローされている

【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】 貴院では母乳育児中の相談・ケアはいつ頃まで行っていますか？

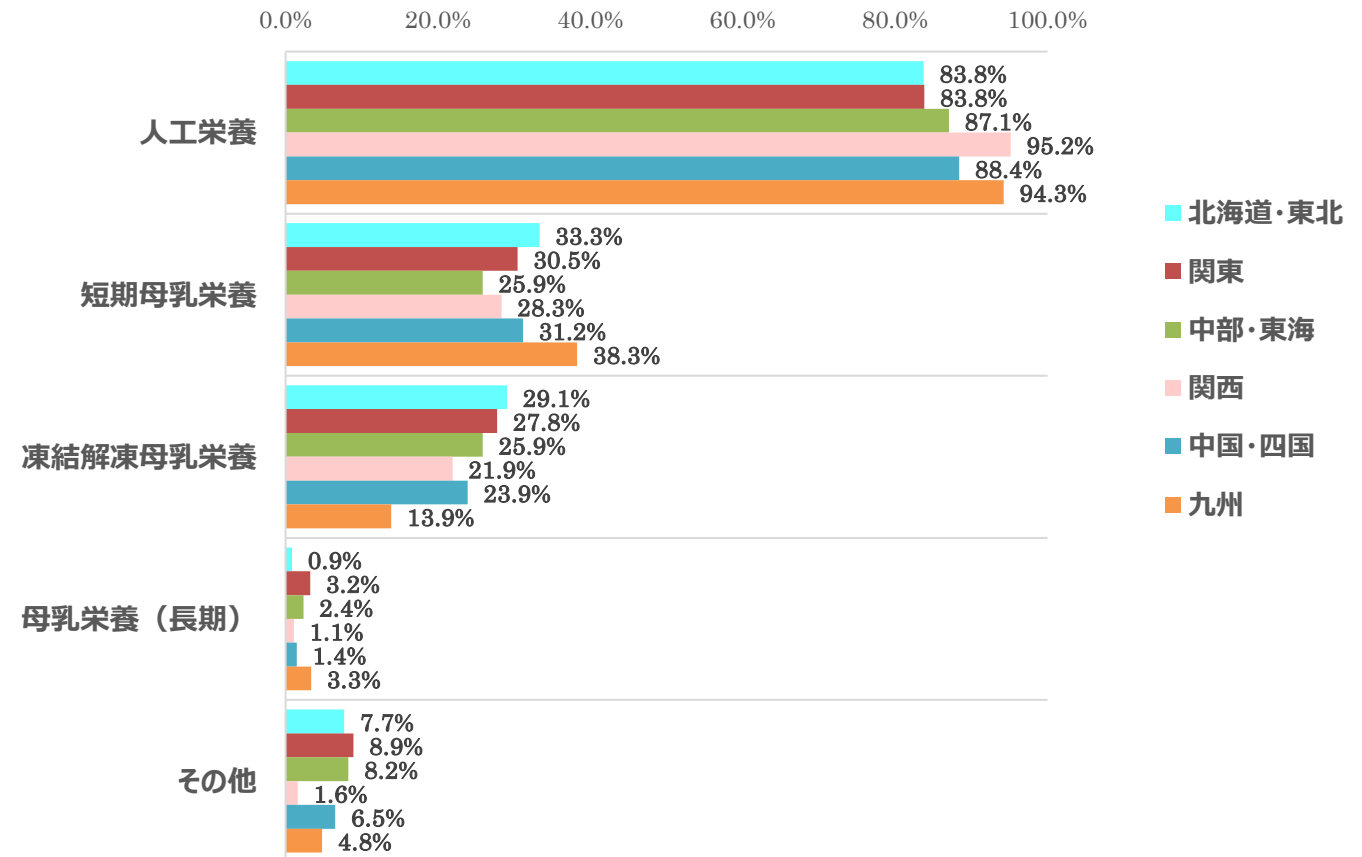
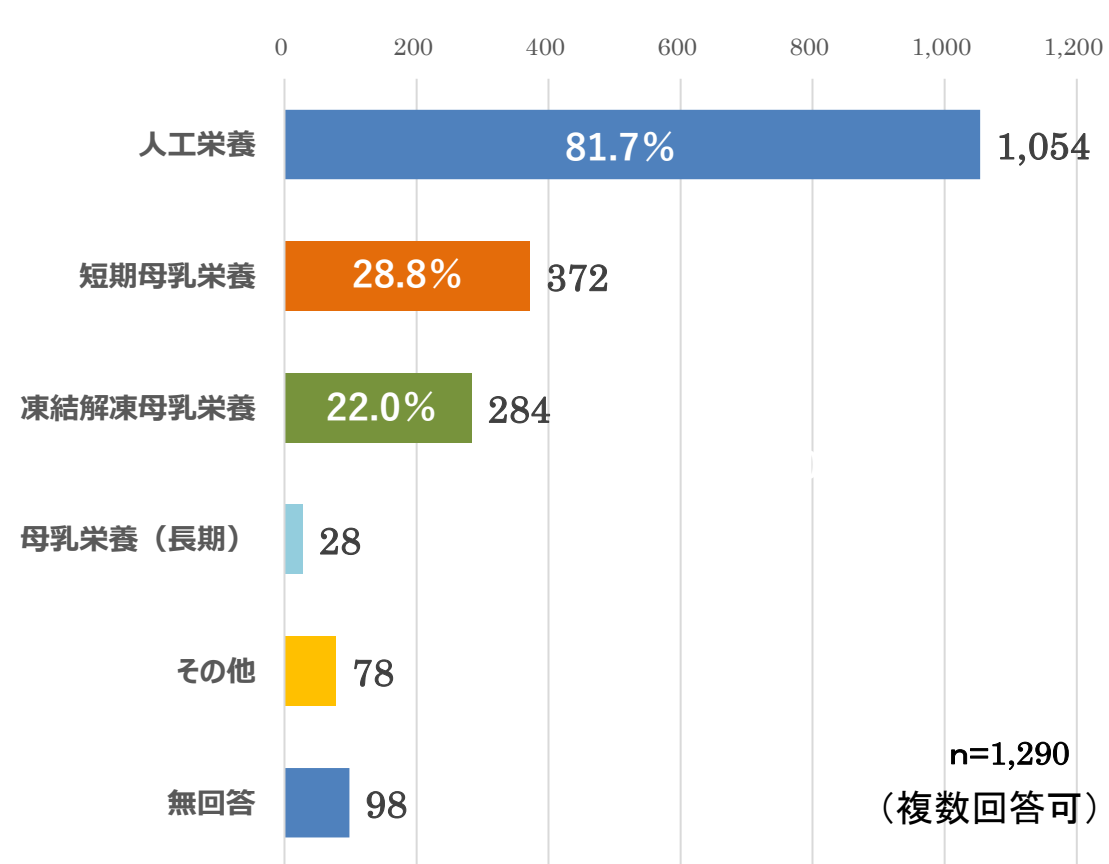


短期母乳栄養中のケア

- 1か月健診でケアを中断する施設が32%あった。
- 逆に、68%は断乳までは継続的にケアを行っている。

HTLV-1キャリア妊婦に貴院ではどのような授乳法を原則的に勧めますか。

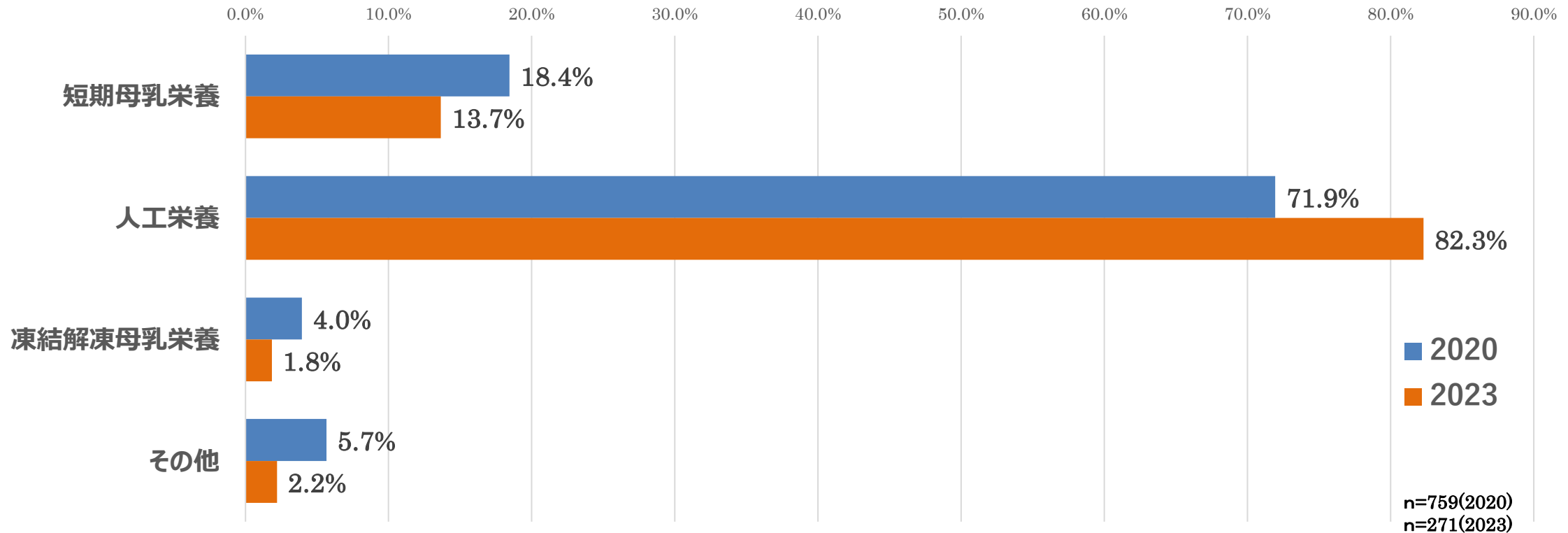
(施設)



- HTLV-1キャリアへの授乳方法の推奨は、人工栄養が80%、短期母乳栄養が約30%、凍結解凍母乳栄養が約20%であった。
- 授乳方法の推奨における地域差は、九州で短期母乳栄養を推奨する施設が若干、多い傾向にある。

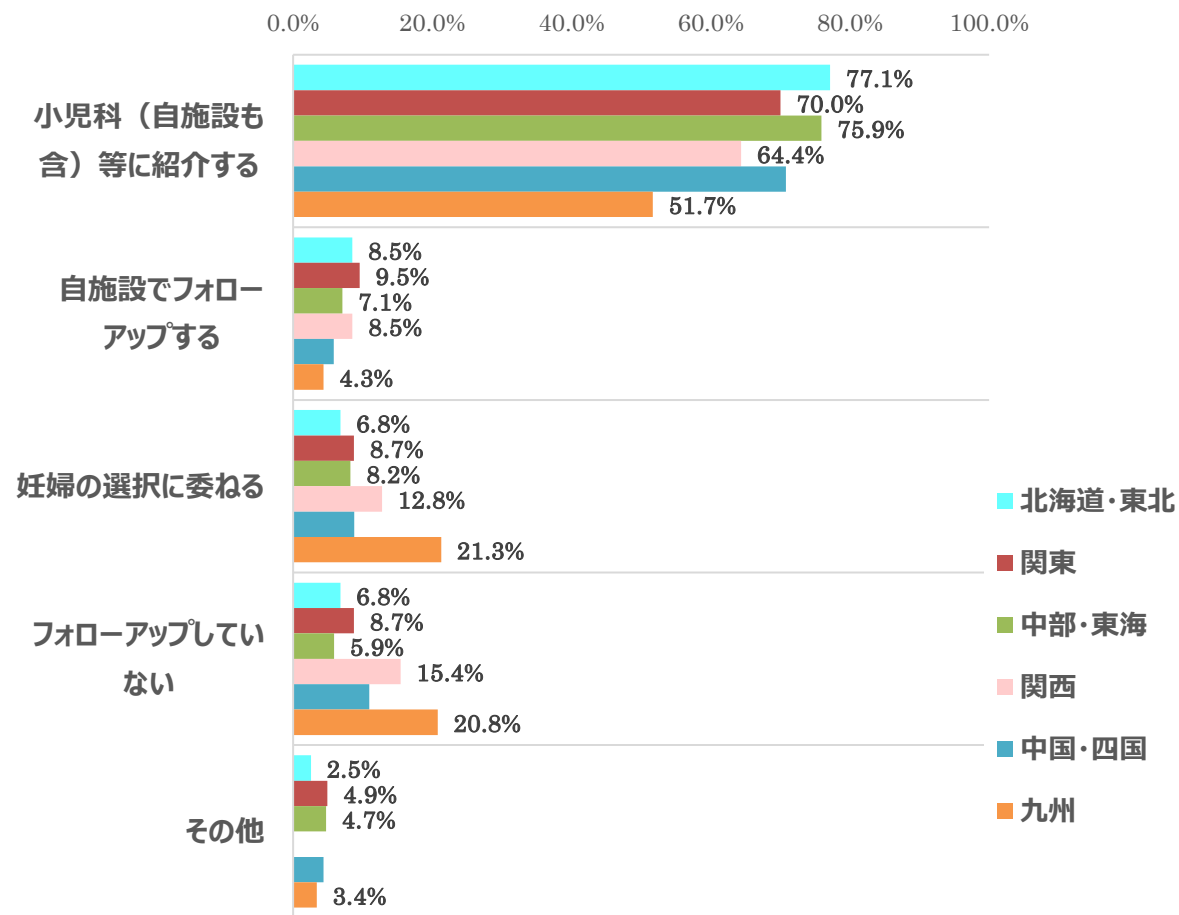
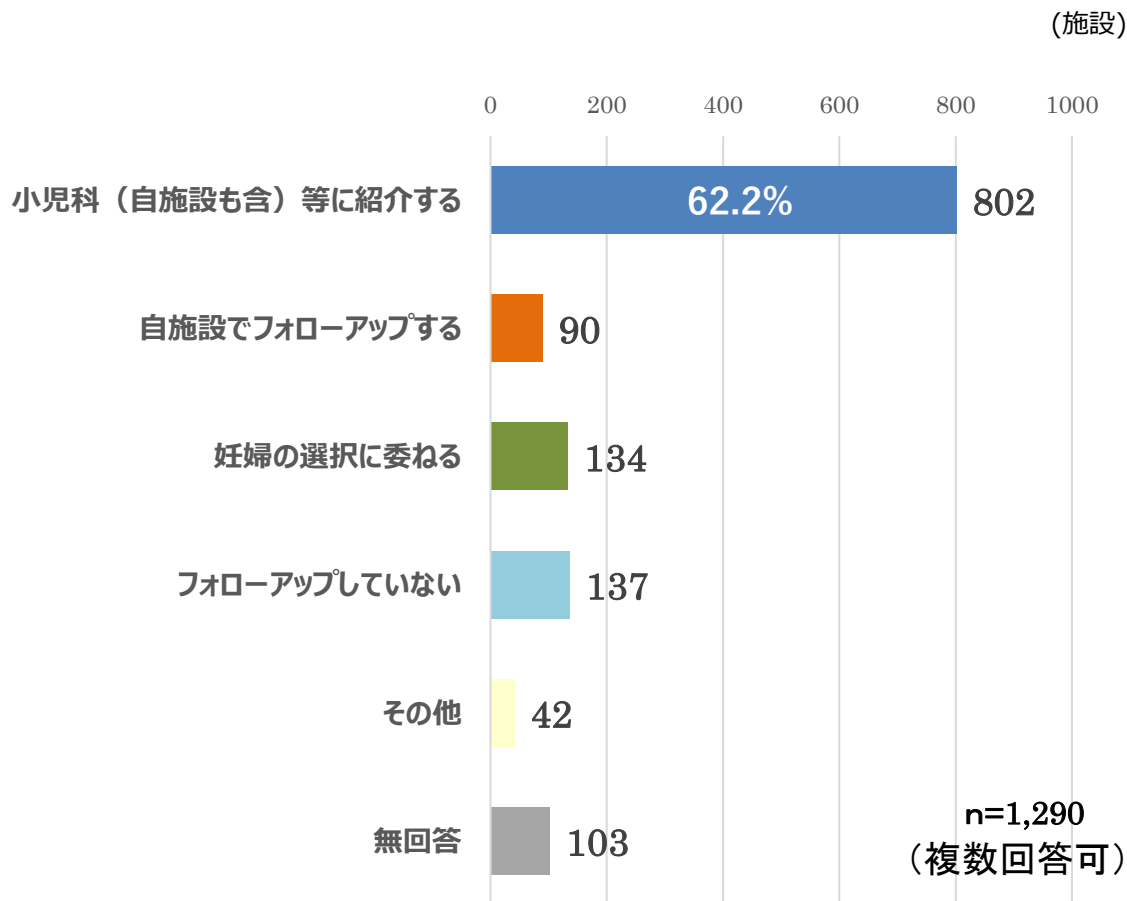
HTLV-1キャリアと診断された妊婦の出産後の最初の栄養方法の選択

※HTLV-1キャリアと診断された妊婦=確認検査で陽性+PCR検査で陽性



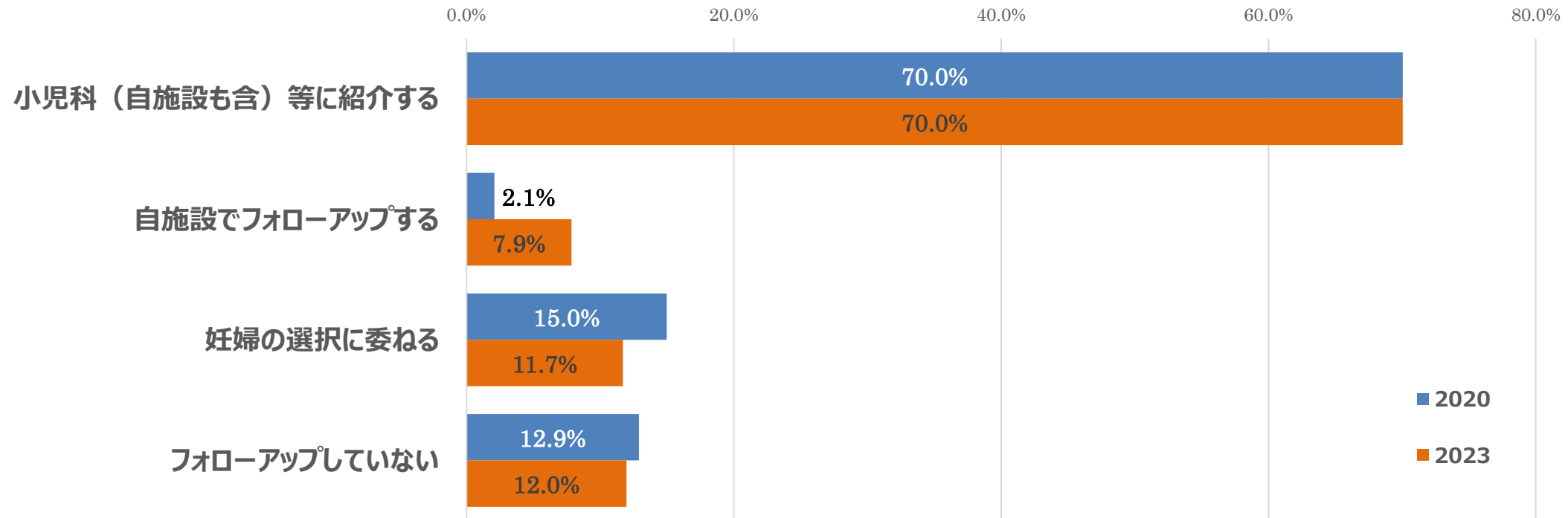
- ・「産婦人科診療ガイドライン産科編2020」からHTLV-1キャリアの栄養方法として、人工栄養が推奨されたこともあり、人工栄養を選択する割合が増加している。

HTLV-1キャリア妊婦から出生した児のフォローアップはどのようにしていますか



- キャリア妊婦から出生した児のフォローは小児科等に依頼して対応することが多い
- 九州では妊婦の選択に任せる・フォローアップしていないという割合が若干多い

HTLV-1キャリア妊婦から出生した児のフォローアップはどのようにしていますか



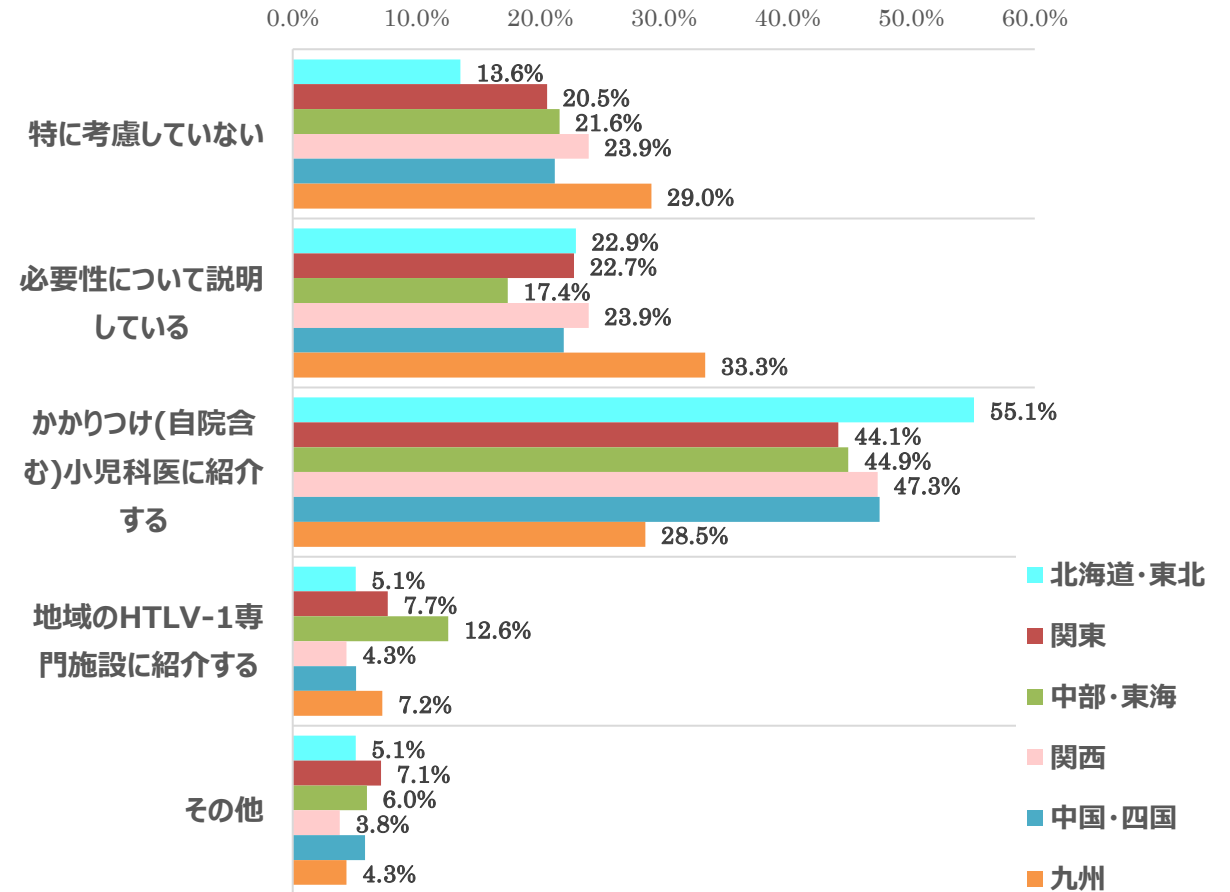
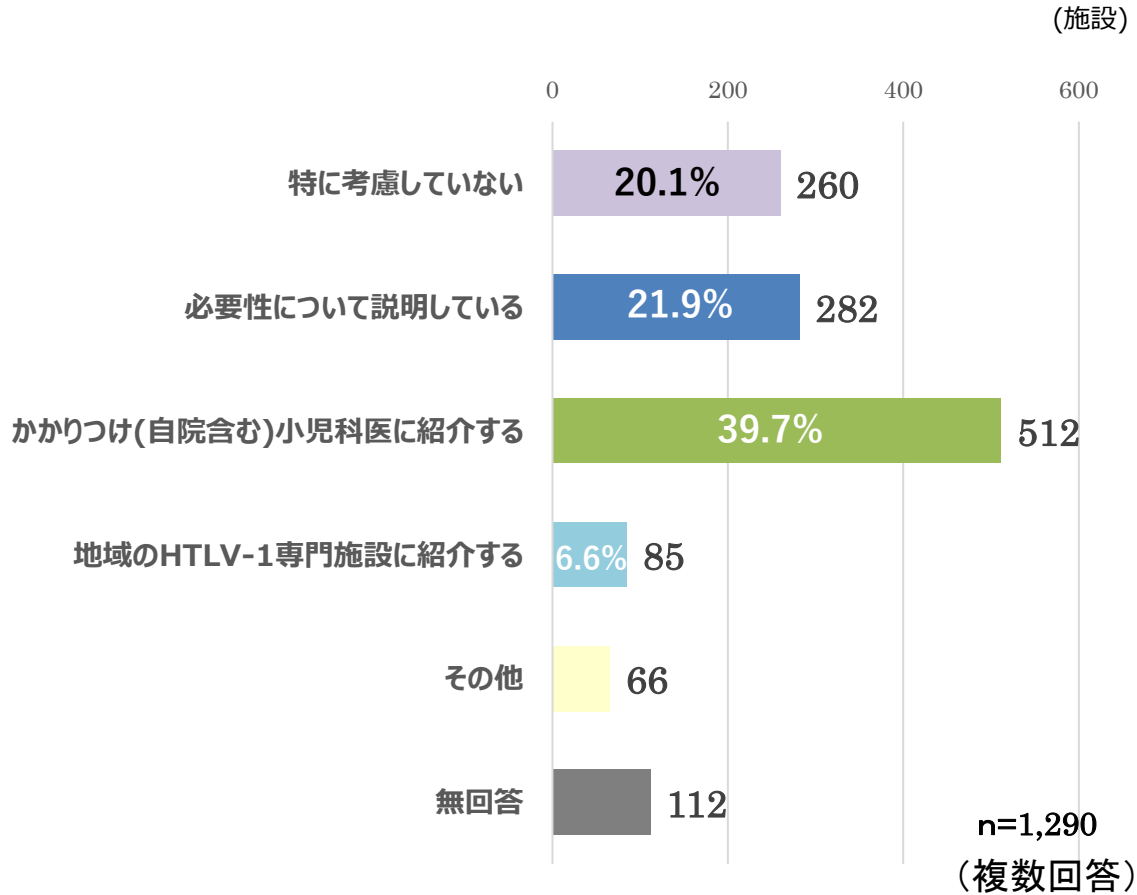
n=1,482(2020)
n=1,145(2023)

(複数回答可)

*回答のあった施設で解析

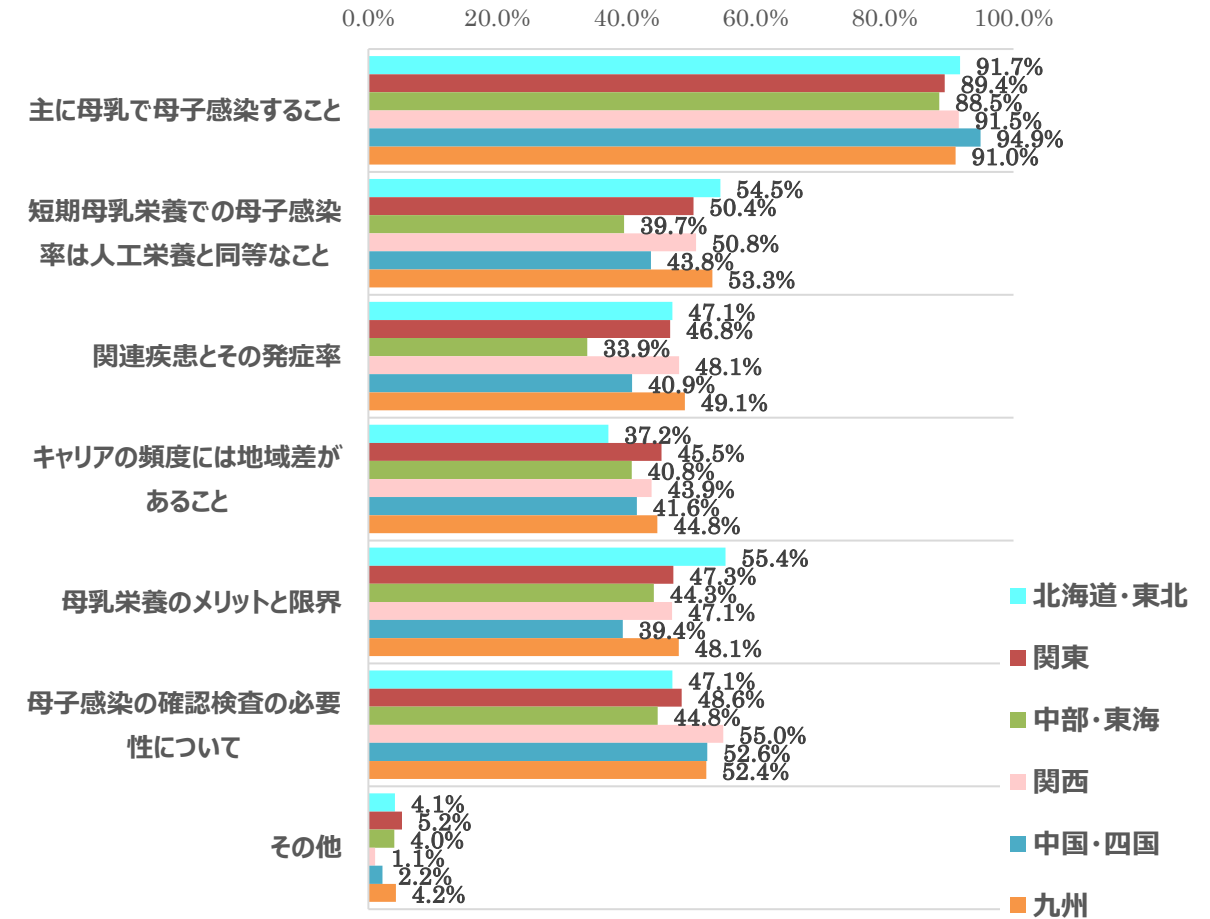
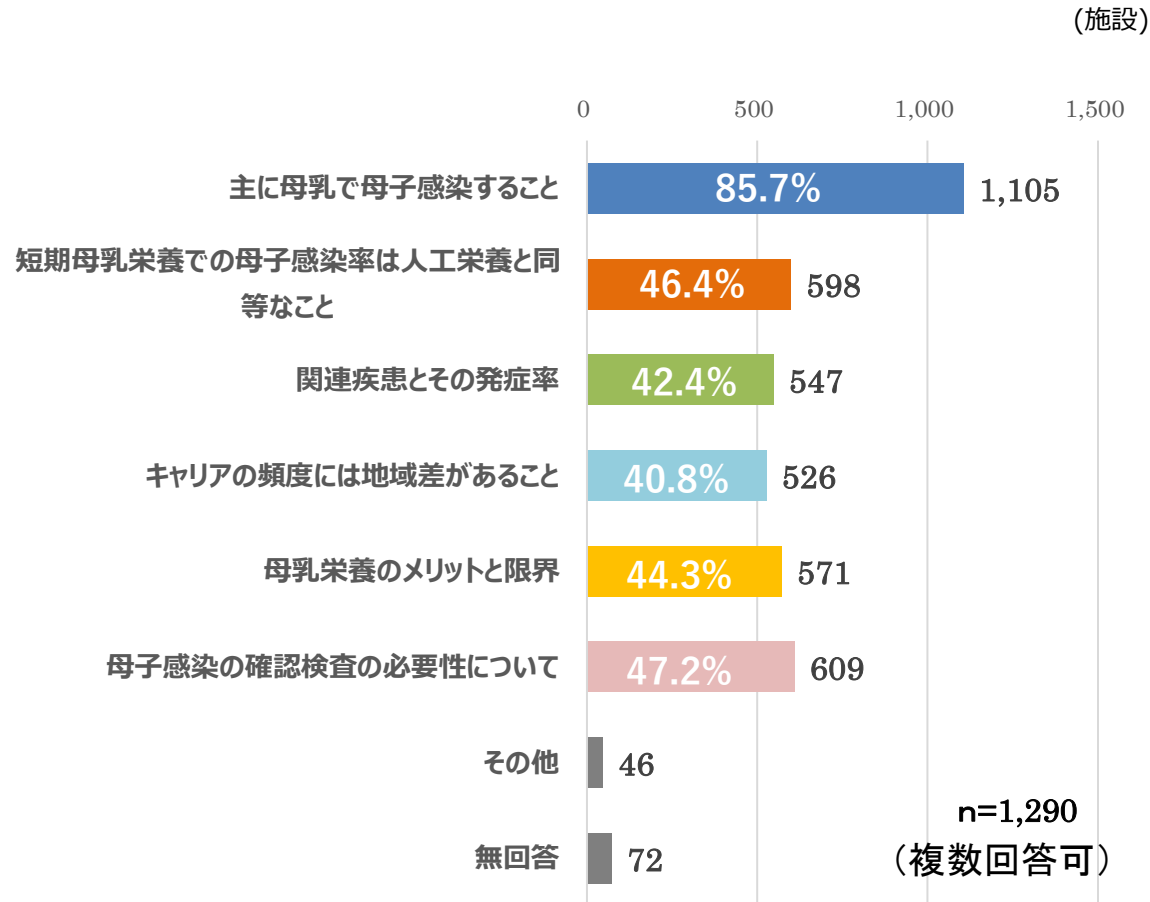
- キャリア妊婦から出生した児のフォローの実施率は若干上昇している

HTLV-1キャリアから出生した児の母子感染の確認のため、貴院では抗体検査についてどのように対応していますか



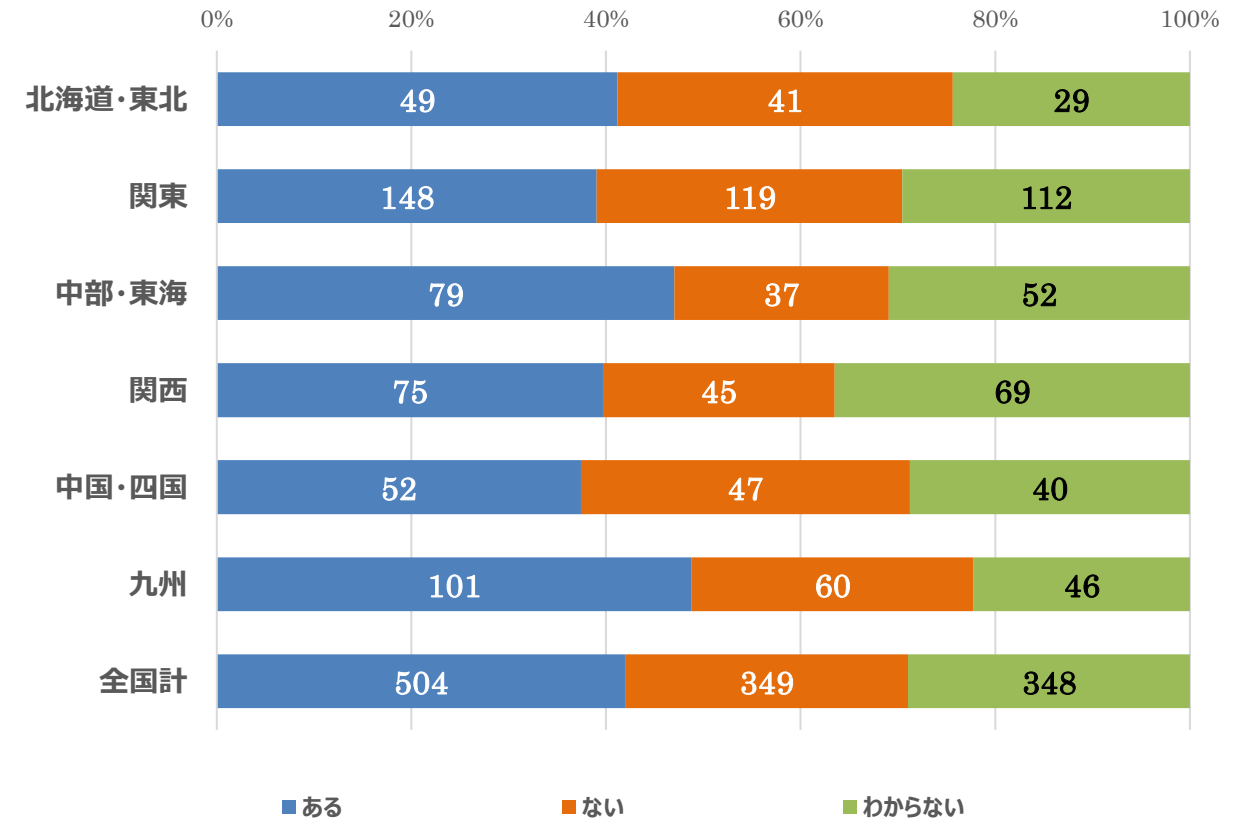
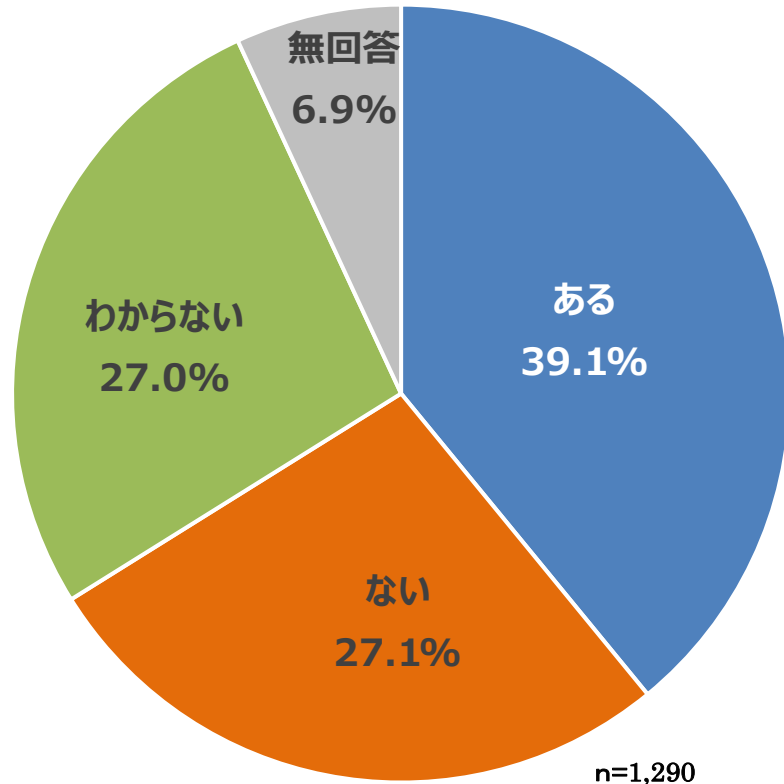
・母子感染の確認については20%の施設で特段の考慮はされていない

HTLV-1キャリアと診断された妊婦に対してどのような説明を行っていますか



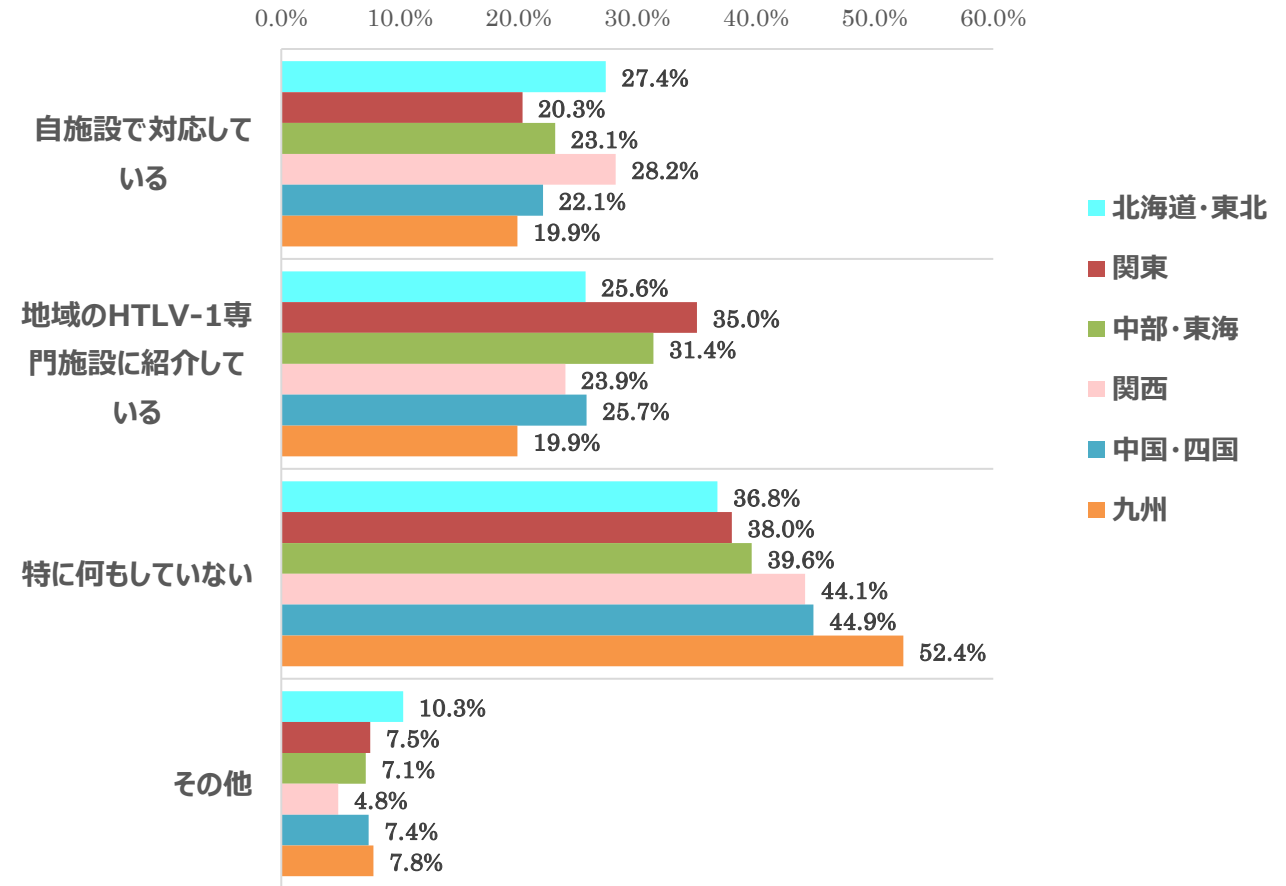
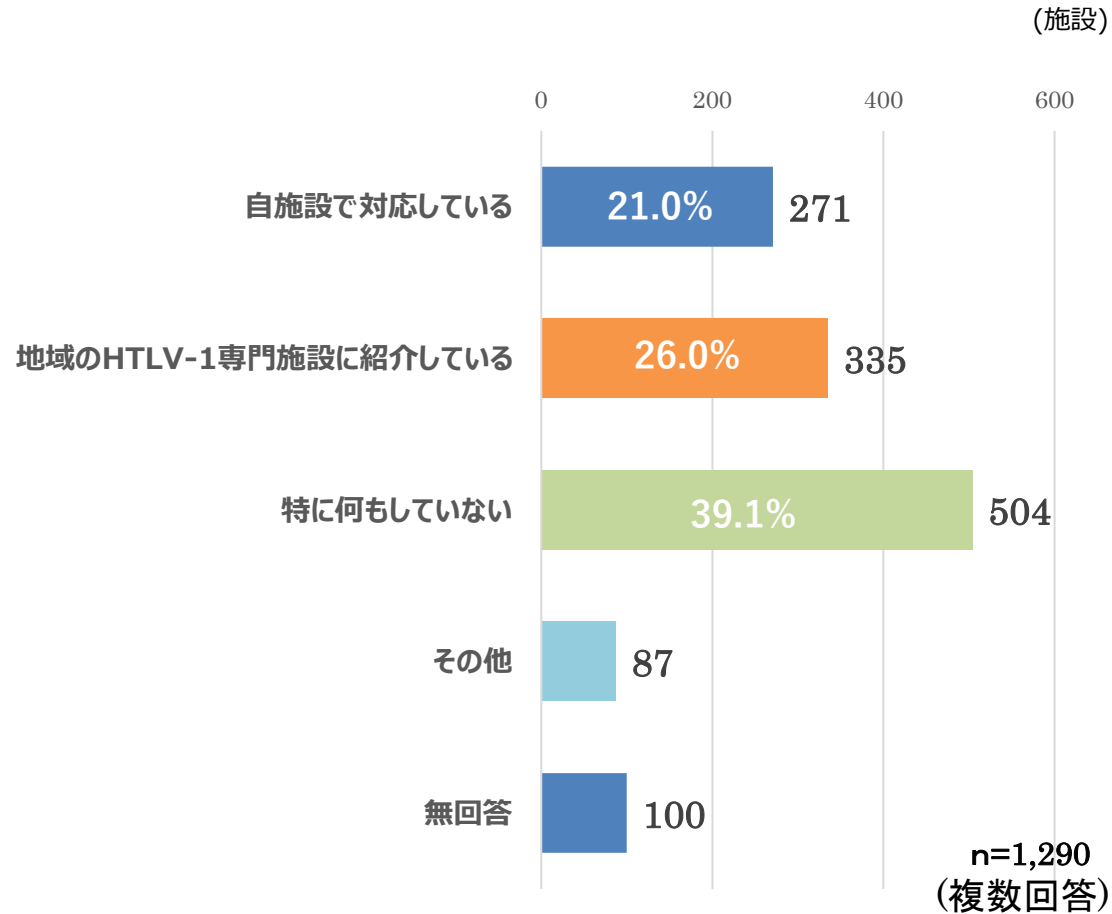
•短期母乳栄養と人工栄養の母子感染率が同等であることはおよそ半分の施設で説明されている

HTLV-1感染症についての専門的な診療を希望された場合、専門施設に紹介するシステムが地域にありますか



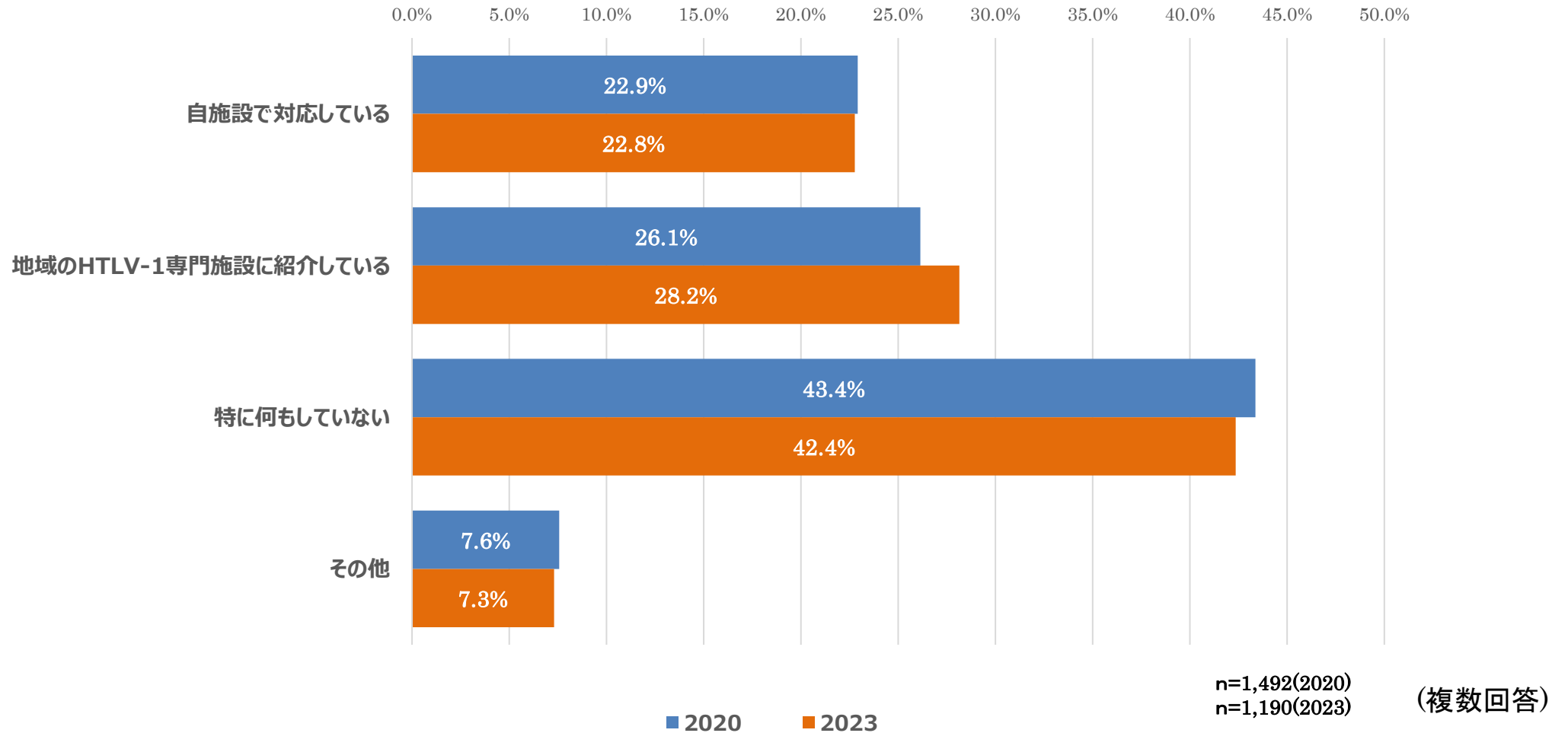
・約4割の地域にHTLV-1感染症についての専門的診療を行う施設に紹介するシステムがある。

HTLV-1キャリア女性の分娩後のフォローアップについて、貴院に当てはまるのはどれですか



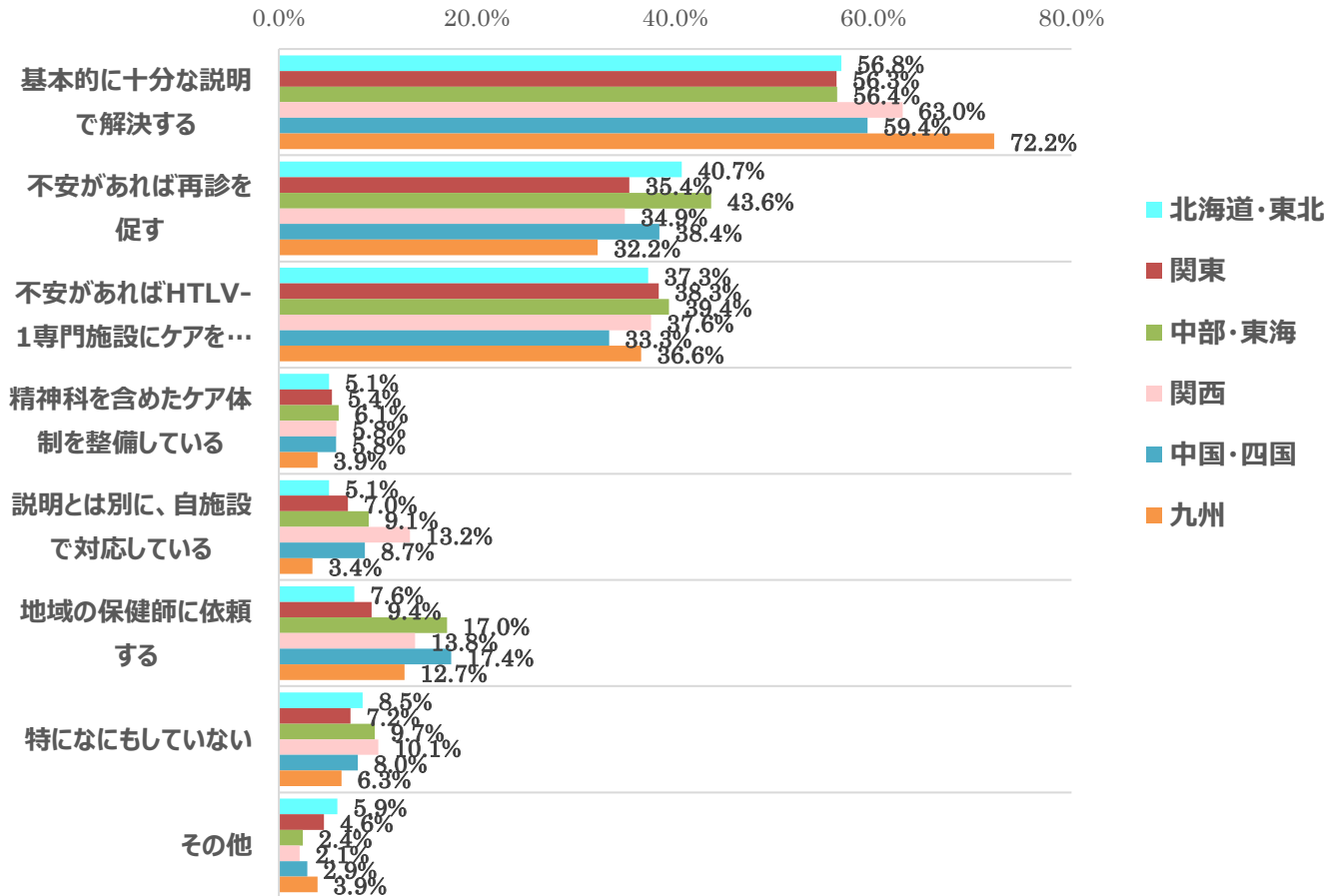
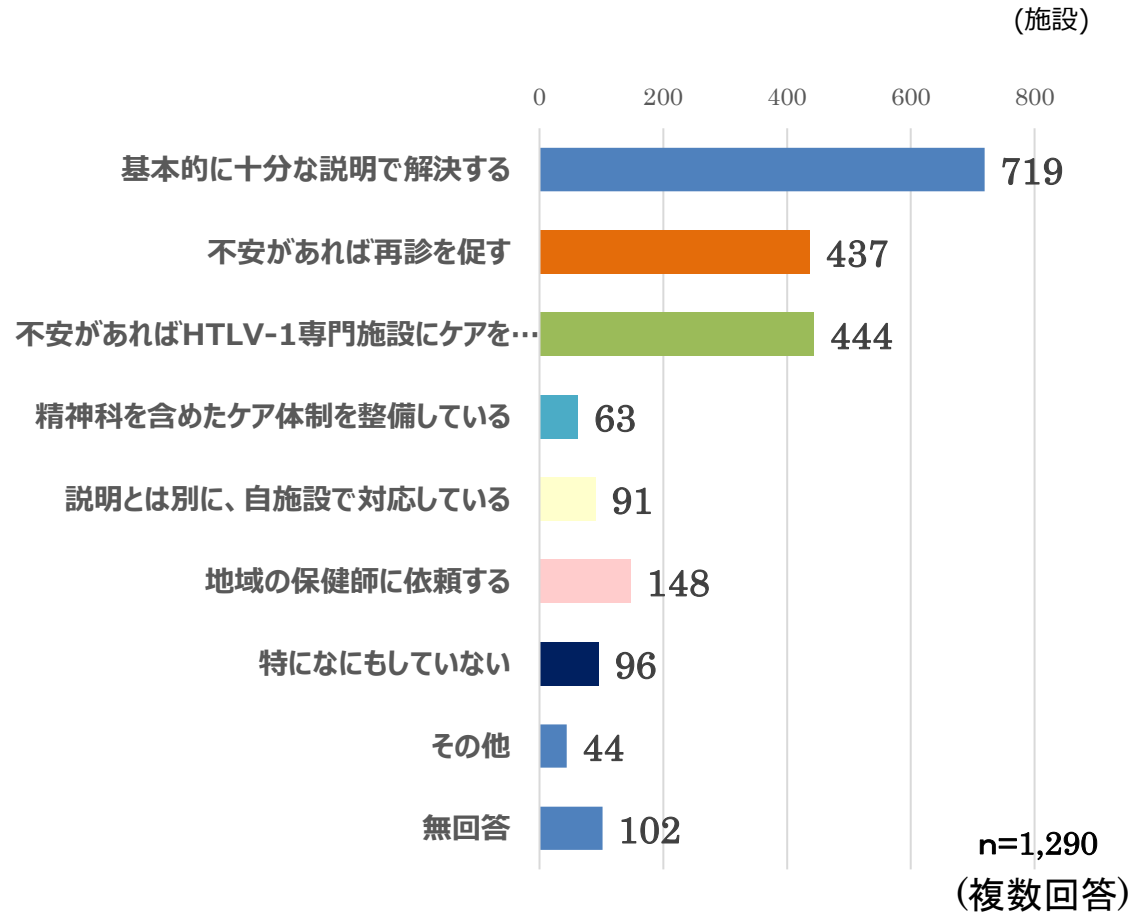
- 分娩後にキャリア女性に対するフォローは4割の施設では何も行っておらず、その割合は九州でやや多い。

HTLV-1キャリア女性の分娩後のフォローアップについて、貴院に当てはまるのはどれですか



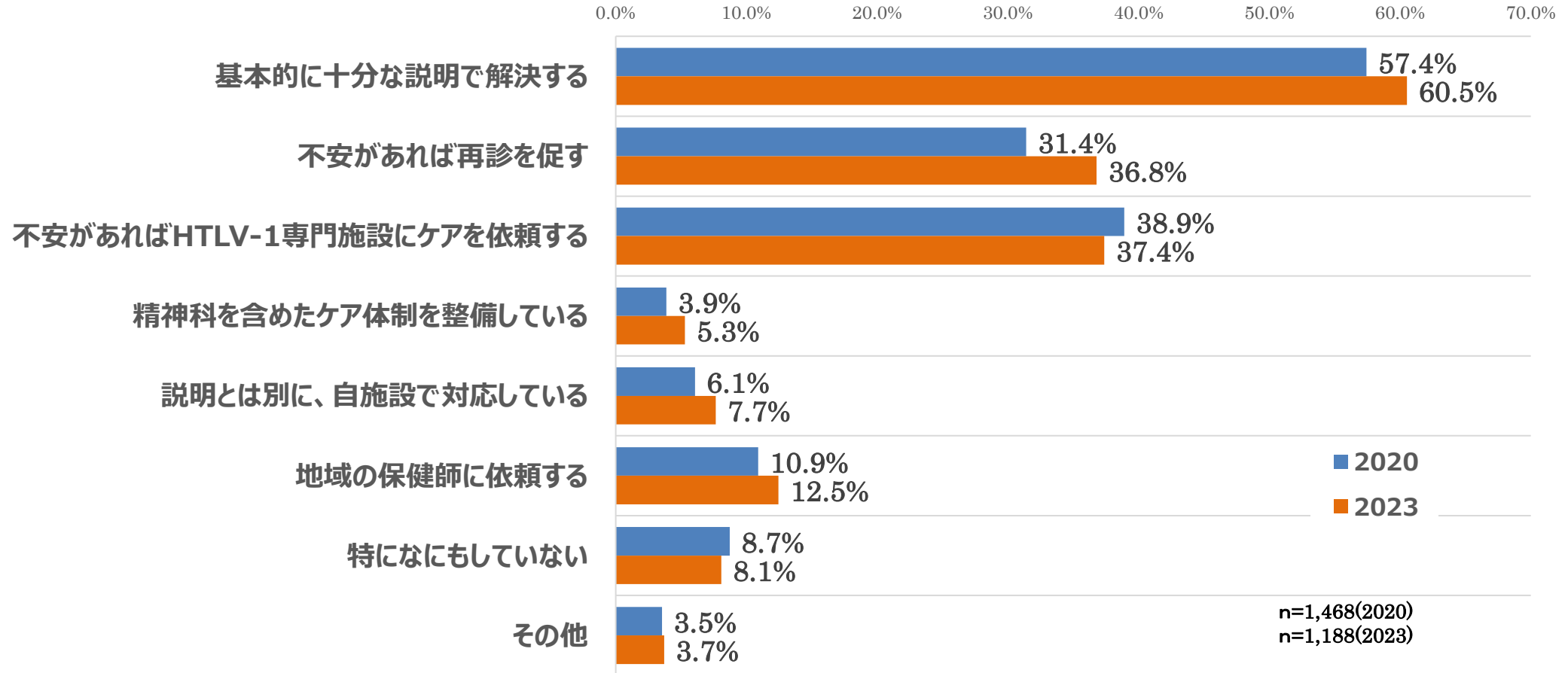
- 地域のHTLV-1専門施設に紹介している割合が若干増加したものの、何も対応していない施設も多い。

貴院ではHTLV-1キャリア妊婦の心のケアについてはどのようにしていますか



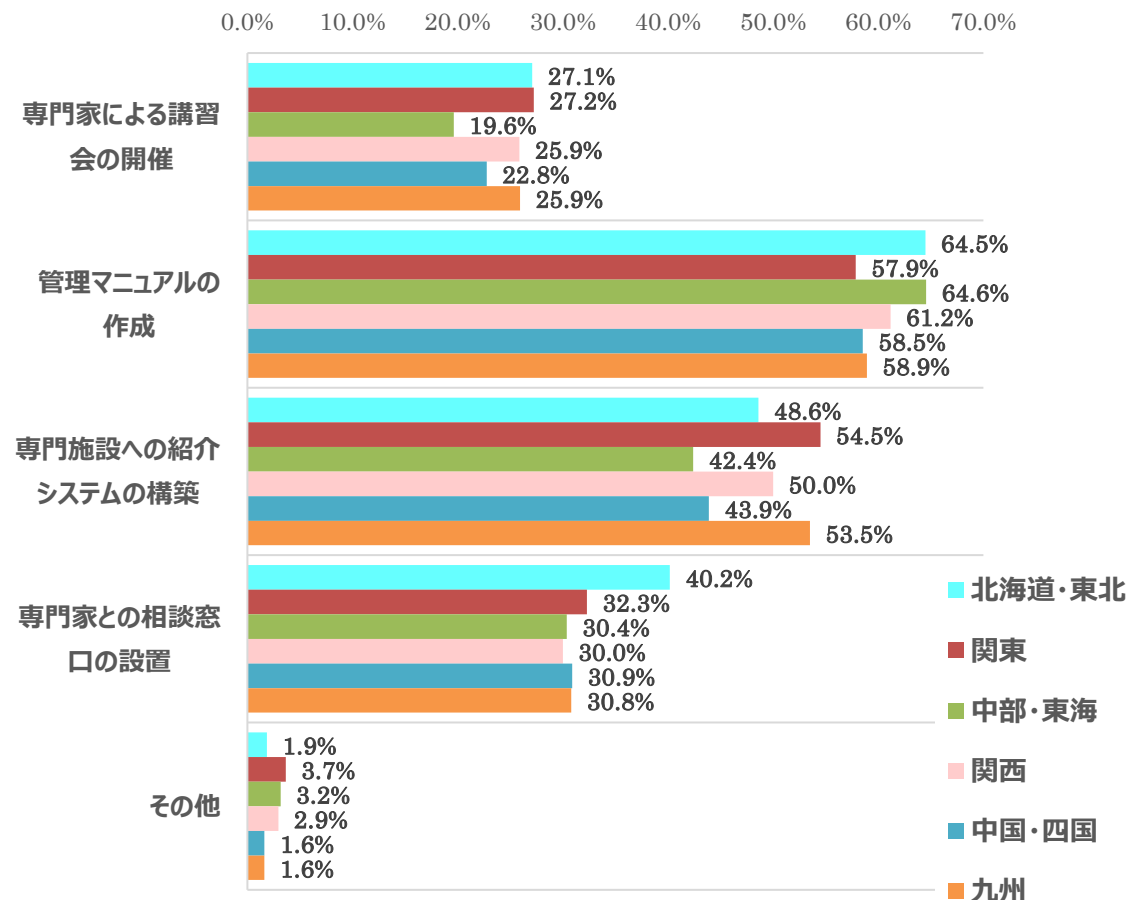
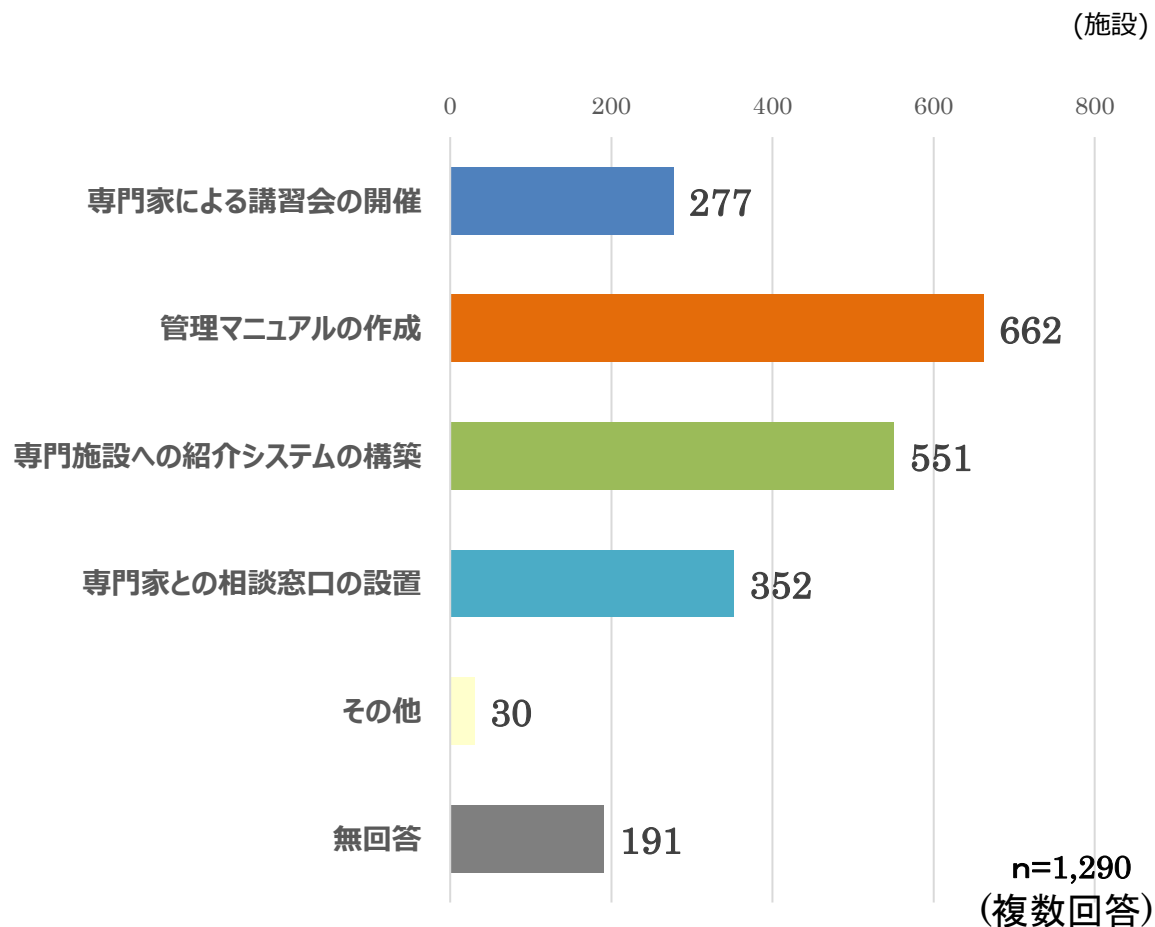
・こころのケアに関しては、ケア体制が整備されているのは63施設(4.9%)のみで、不安に対して対応されているのみである。

貴院ではHTLV-1キャリア妊婦の心のケアについてはどのようにしていますか



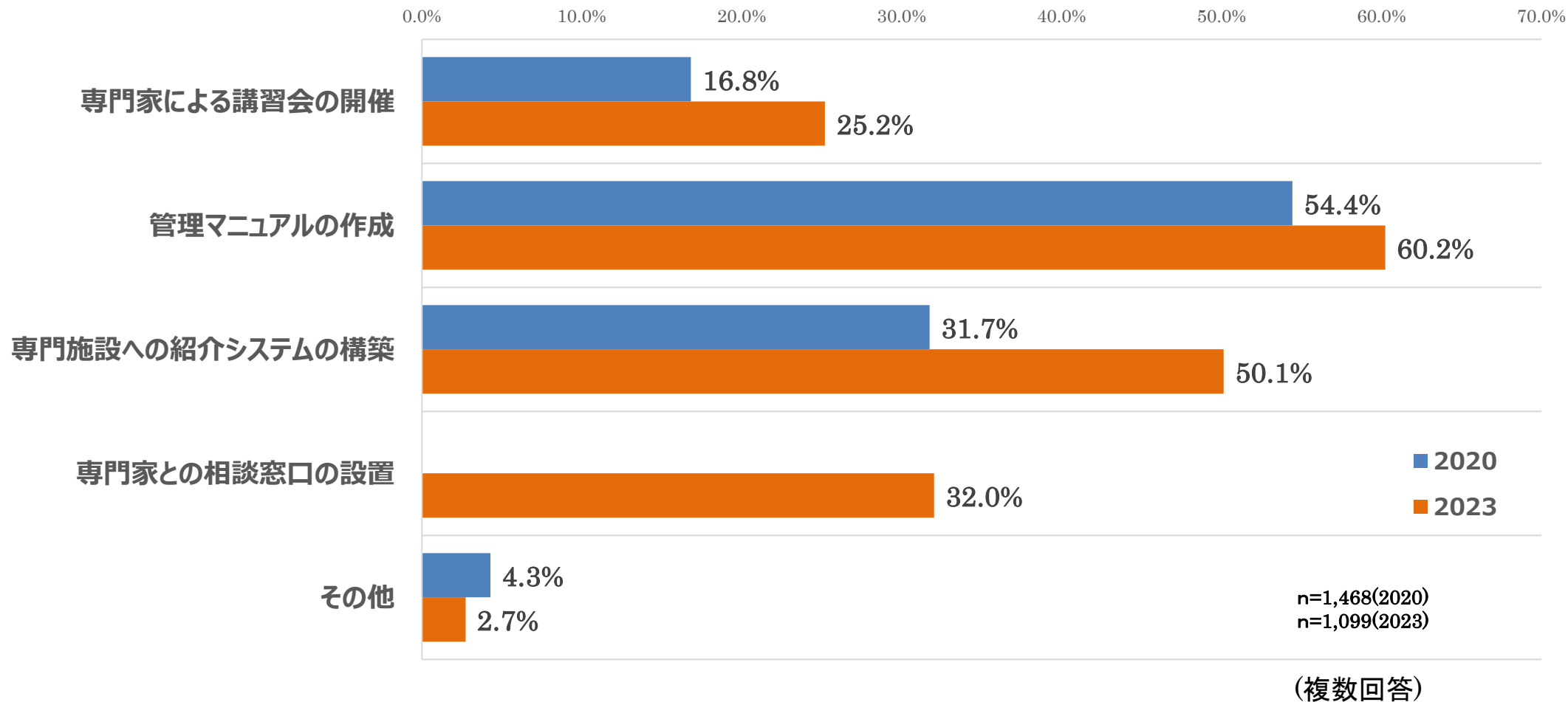
(複数回答)

HTLV-1キャリア妊婦の診療を充実させるために希望することはありますか

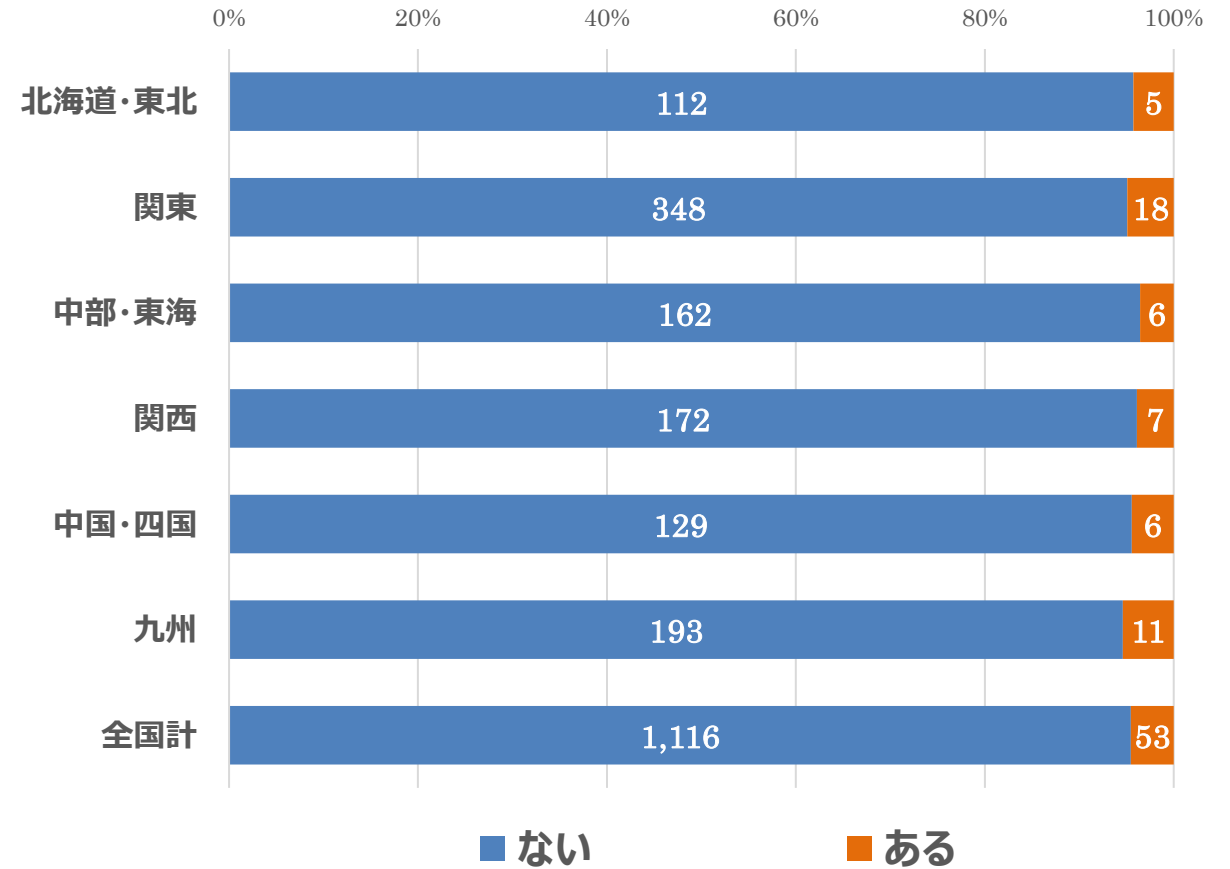
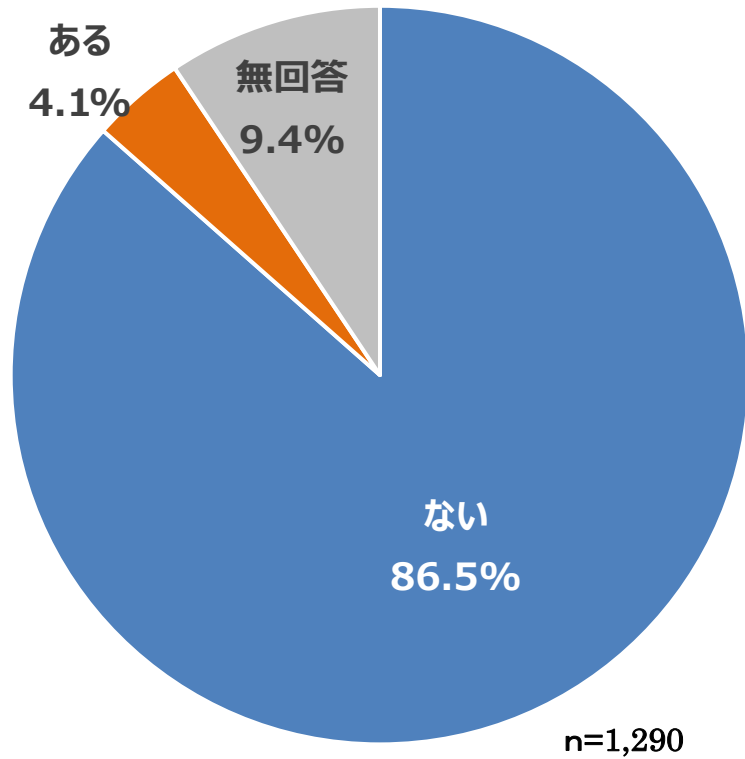


・診療充実のために、管理マニュアルの作成、専門施設への紹介システムの構築、専門家との相談窓口の設置、専門家による講習会の開催などを求める意見があった。

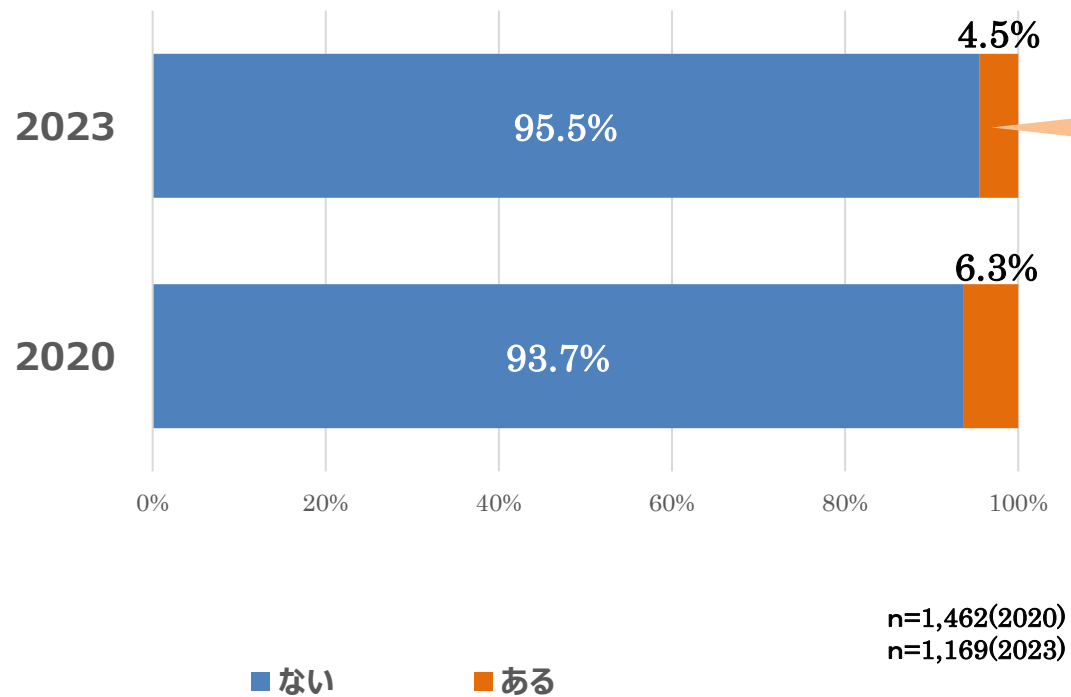
HTLV-1キャリア妊婦の診療を充実させるために希望することはありますか



HTLV-1キャリア妊婦の診療で困っていることはありますか



HTLV-1キャリア妊婦の診療で困っていることはありますか



「ある」の具体的記載内容

	(件)
分娩後のフォローについて	16
妊婦や家族への説明について	7
検査について	7
紹介先について	6
母乳栄養について	4
紹介システムや相談窓口について	3
ガイドラインについて	3
費用について	2
その他	3

まとめ

- HTLV-1のスクリーニングは広く行われており、陽性率は九州では高いものの低下傾向にある。
- 水平感染の可能性のあるHTLV-1キャリアが7.3%いることが確認された。
- HTLV-1キャリアの77.4%は人工栄養を選択しており、短期母乳栄養は12.8%である。
- HTLV-1キャリアと診断された妊婦のこころのケアについて配慮する施設もある。
- 短期母乳栄養の選択者について
 - 九州と関西で多い傾向にある。
 - 母乳ケアは助産師を中心に担われている
 - 3分の1は1か月健診でケアが中断されている
 - 4分の1ではフォローアップが行われていない
- HTLV-1キャリアから生まれた児のフォローアップは小児科医に依頼されることが多く、フォローアップされていないことも1割以上ある。
- 産後のHTLV-1キャリア女性のフォローアップを専門施設に紹介したり、自施設で行うのは50%以下である。
- 約40%の施設の地域にHTLV-1専門施設に紹介するシステムがある。